

平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業

(沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地)

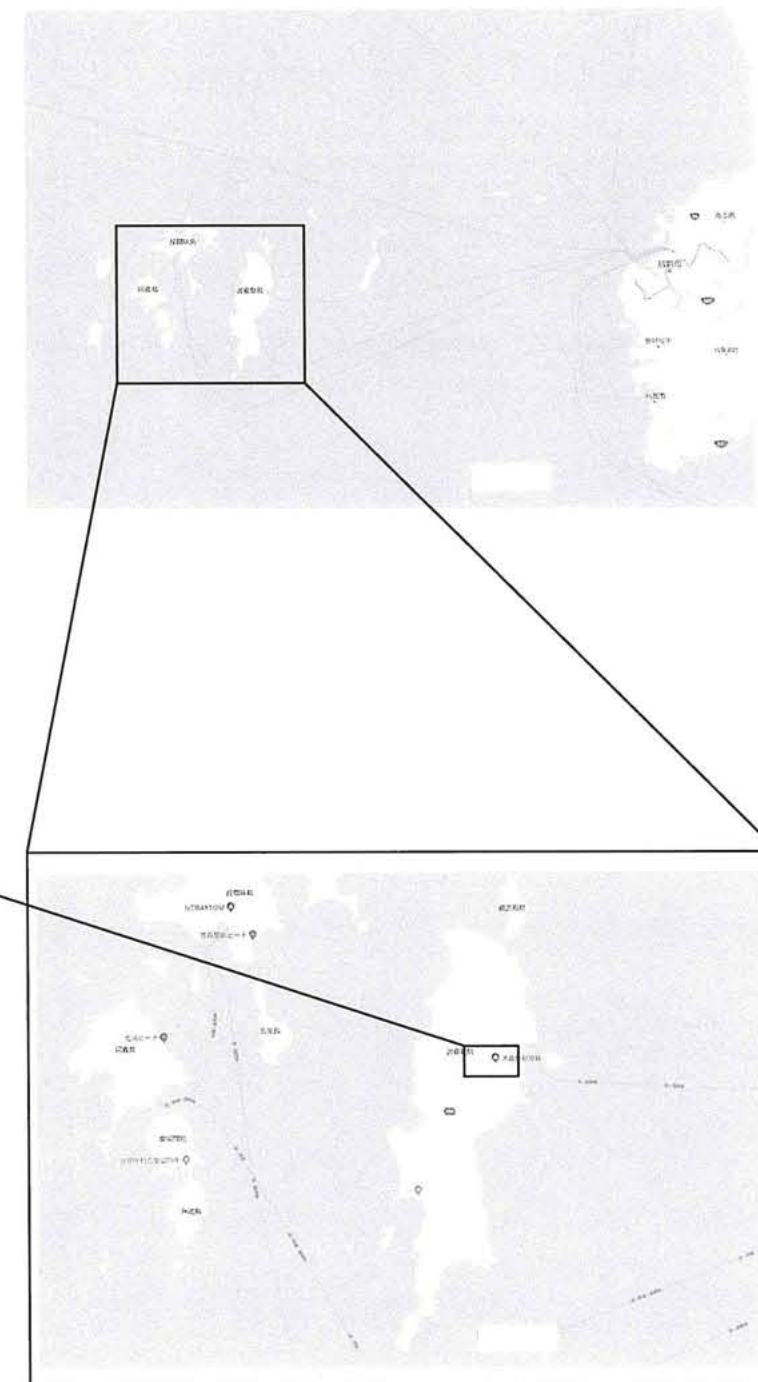
図 面 目 録

図面番号	図面名称	縮 尺		図面番号	図面名称	縮 尺		図面番号	図面名称	縮 尺	
		A 1	A 3			A 1	A 3			A 1	A 3
A-01	特記仕様書-1	NOSCALE	NOSCALE	A-13	展開図-2	1/50	1/100	E-01	特記仕様書(電気)その1	NOSCALE	NOSCALE
A-02	特記仕様書-2	NOSCALE	NOSCALE	A-14	展開図-3	1/50	1/100	E-02	特記仕様書(電気)その2	NOSCALE	NOSCALE
A-03	特記仕様書-3	NOSCALE	NOSCALE	A-15	展開図-4	1/50	1/100	E-03	特記仕様書(電気)その3	NOSCALE	NOSCALE
A-04	特記仕様書-4	NOSCALE	NOSCALE	A-16	展開図-5	1/50	1/100	E-04	電気設備 改修前・改修後平面図	1/50	1/100
A-05	案内図	NOSCALE	NOSCALE	A-17	展開図-6	1/50	1/100				
A-06	配置図・面積算定図	1/100	1/200	A-18	天井伏図	1/50	1/100	M-01	特記仕様書(機械)その1	NOSCALE	NOSCALE
A-07	建築概要・仕上表	NOSCALE	NOSCALE	A-19	小屋伏図	1/50	1/100	M-02	特記仕様書(機械)その2	NOSCALE	NOSCALE
A-08	平面図	NOSCALE	NOSCALE	A-20	屋根伏図	1/50	1/100	M-03	特記仕様書(機械)その3	NOSCALE	NOSCALE
A-09	ブロック割平面図・壁量計算	1/50	1/100	A-21	木製建具表1・建具キープラン	1/50	1/100	M-04	特記仕様書(機械)その4	NOSCALE	NOSCALE
A-10	立面図	1/50	1/100	A-22	木製建具表2・建具キープラン	1/50	1/100	M-05	給排水設備 改修前・改修後平面図	1/50	1/100
A-11	断面図	1/50	1/100	A-23	金属製建具表・建具キープラン	1/50	1/100	M-06	浄化槽詳細図-1	1/20	1/40
A-12	展開図-1	1/50	1/100								

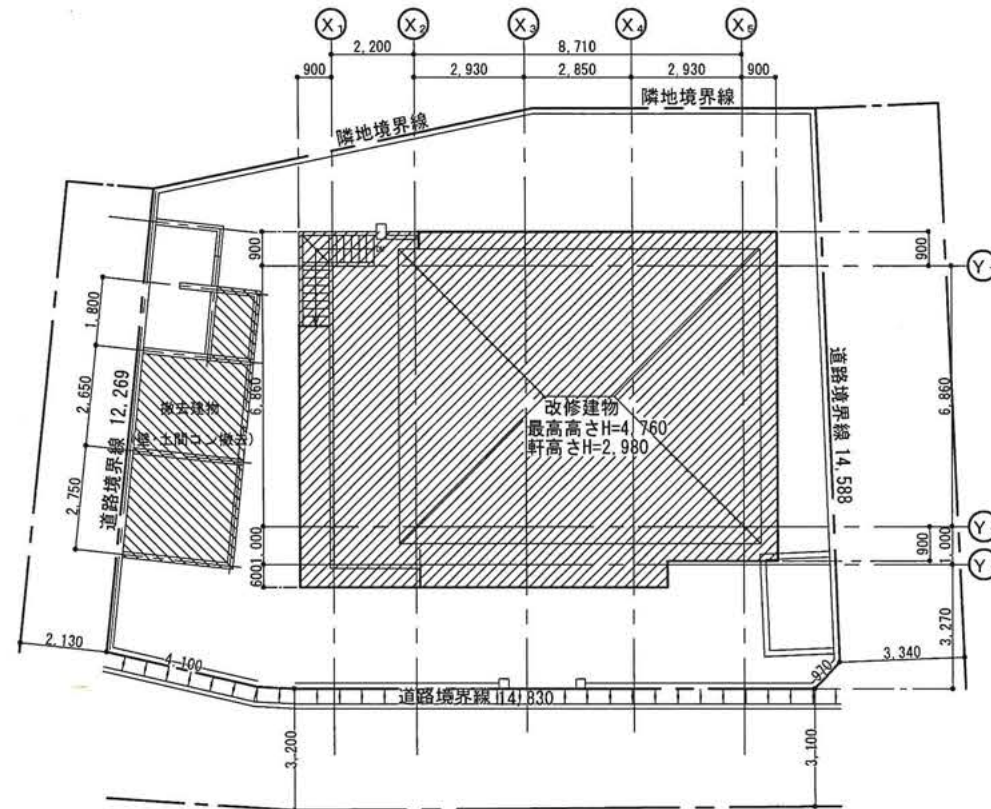
平成28年版 建築改修工事特記仕様書〔建築工事編〕 沖縄県土木建築部			章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	
制定 平成28年6月30日 最終改定 平成30年3月1日					(5) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率（元契約額÷元設計額）を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。 (6) 県産資材の優先使用 本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。 (7) 下請業者の県内企業優先活用 受注者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有する者。）から選定するように努めなければならない。 (8) 不発弾等発見時の処理について 本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署（交番、駐在所）に報告すると共に、監督員を通して関連市町村（防災主管課）、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。 また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。 なお、これについては、下請業者へも周知すること。 (9) ダンプトラック等による過積載等の防止について イ 過積載を行っている資材納入者から、資材購入をしないこと。 ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。 エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることのないようにすること。 オ 「土砂等」を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。 (10) 不正軽油の使用の禁止等について ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。）を使用し、又は使用させてはならない。 イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。			(6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。 (7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。 (8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。 建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。 (1) 風速：V0＝ m/s （平12建造第1454号第2） (2) 地表面粗度区分： (3.5.4) (3.9.3) (5.13.5) (9.3.4) (1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 (2) 現場代理人等は、施工に先立ち、各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図（各1/50程度）及び必要な部位の断面図を作成の上、各工事の必要な内容を記載した総合図を作成する。なお、総合図は監督員に提出し、確認を受ける。 (3) 施工計画書及び施工図等は監督員の指示する時期に提出する。ただし監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、施工図等は工事着手前までに提出し、承諾を受ける。 電気工作物の工事を行う場合、その工事期間において電気保安技術者を配置し、保安業務を行うこと。 (1.3.3) 施工順序等の制約 ○無し ・有り【・現場説明書による ・図示 ・ 】 工事車両の駐車場所 ： ・図示 ・現場説明書による ・ 資材、機材置場 ： ・図示 ・現場説明書による ・ 建設発生土の仮置場 ： ・図示 ・現場説明書による ・ その他の施工条件 ： ・図示 ・現場説明書による ・ (1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正平成13年4月9日 国土交通省告示第487号）による建設機械を使用する。 (2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号最終改正平成14年4月1日付け国総施設第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工用建設機械（ディーゼルエンジン出力7.5～260kW） ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット（基礎工用機械で独立したもの） キ ローラ類 ク ホイールクレーン (1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。	
1 工事概要 (1) 工 事 名： 平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業 (2) 工事場所： 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地 (地域地区等： 都市計画区域外) (3) 敷地面積： 269.99 m2 (4) 工事種目 改修工事 ア 建築物 建築物の名称 古民家活用改修工事 主要用途 専用住宅 構造及び階数 補強コンクリートブロック造木小屋組赤瓦屋根・一部コンクリート陸屋根 工事種別 改修工事（模様替え） 建築面積 82.82 m2 延べ面積 82.82 m2 イ 工作物及び立木 工作物等の名称 数量 2 本工事の設計時期 本工事の設計書は、平成 31年 3 月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。 3 建築工事仕様 (1) 標準仕様 図面及びこの特記仕様に記載されていない事項は、すべて官庁営繕関係統一基準の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」[平28年版]（以下「標準仕様書」という。）による。 (2) 特記仕様 ア 章は、番号に○印の付いた章を適用する。 イ 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 ウ 特記事項は「・」に○印の付いたものを適用する。「・」に○印がつかない場合は「※」の付いたものを適用する。「・」と「※」共に○印が付いた場合は共に適用する。「※」を適用しない場合は、「・」に変えること。 エ 特記事項のうち【 】については、適用する事項を選択して記載すること。 オ 項目及び特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 カ 特記事項に記載の（参一 . . .）は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」[平成25年版]巻末の各部配図参考図の当該項目を示す。 キ 形状寸法の単位は、特記なき限りmmとし、質量も従来どおりkgであるが、力（N：ニュートン）、応力（N/mm2）、圧力（Pa：パスカル）、エネルギー（J：ジュール）等は基本的には国際単位系（SI単位）を使用する。 4 その他 (1) 公共事業労務費調査に対する協力 ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合、調査票等に必要事項を正確に記入し、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導等の対象になった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても、同様とする。 ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調製・保存する等、日項より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。 エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。 (2) 暴力団員等による不当介入の排除対策 受注者は、当該工事の施工に当たって「沖縄県土木建築部発注工事における暴力団員等による不当介入の排除手続きに関する合意書（平成19年7月24日）」に基づき、次に関する事項を遵守しなければならない。なお、違反したことが判明した場合は、指名停止等の措置を行うなど、厳正に対処するものとする。 ア 暴力団員等から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 イ 暴力団員等から不当要求による被害又は工事妨害を受けた場合は、速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署等に被害の届出を行うこと。 ウ 暴力団員等に対する排除対策を講じたにもかかわらず、工事に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と工程に関する協議を行うこと。 (3) ワンデーレスポンスの実施 ア この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは、監督員が、受注者からの質問、協議の回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。 イ 受注者は計画工程表の提出に当たって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。 ウ 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員へ報告すること。 エ 効果・課題等を把握するためアンケート調査等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。 (4) 工事監督業務の一部委託 ア 本工事は、沖縄県財務規則第112条第1項の規定に基づき発注者又は建設工事請負契約書（以下、「契約書」という。）第9条に基づく監督員（以下「監督員」という。）が行う監督業務の一部を委託し、職員以外のもの（以下「管理技術者等」という。）が監督業務の一部を実施する。 イ 受注者又は契約書第10条に定める現場代理人及び主任技術者等（以下「現場代理人等」という。）は、管理技術者等が監督員に代わり現場で立会等をする場合には、その業務に協力しなければならない。また、書類の提出に関し、説明を求められた場合はこれに応じなければならない。ただし、管理技術者等は、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しない。 ウ 監督員から現場代理人等に対する指示又は通知等は管理技術者等を通じて行うことがあるので、この際は監督員から直接指示又は通知等があったものと同等である。 エ 監督員の指示により、現場代理人等が監督員に対して行う報告又は通知等は、管理技術者等を通じて行うことができるものとする。					イ 過積載を行っている資材納入者から、資材購入をしないこと。 ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。 エ さし枠の装置または物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが工事現場に出入りすることのないようにすること。 オ 「土砂等」を運搬する大型自動車による交通事故の防止に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等の加入者の使用を促進すること。 カ 下請契約の相手方又は資材納入者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 キ アからカの事につき、下請契約における受注者を指導すること。 (10) 不正軽油の使用の禁止等について ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。）を使用し、又は使用させてはならない。 イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の抜取調査に協力しなければならない。			⑤ 品質計画等 (1.2.2) ⑥ 施工図等 (1.2.3) 7 電気保安技術者 ⑧ 施工条件 (1.3.5) ⑨ 施工中の安全確保及び環境保全等 (1.3.7) (1.3.11) ⑩ 発生材の処理等 (1.3.8)	
① 適用基準等 ① 一般事項 ② 工事実績情報の登録 ③ 工事の一時中止に関する事項 (1.1.9) 4 工事の余裕期間					・建築改修工事監理指針〔国土交通省大臣官房官庁営繕部監修〕[平成28年版] ・建築工事標準詳細図〔国土交通省大臣官房官庁営繕部監修〕[平成22年版] ・敷地調査共通仕様書〔国土交通省・国営整第183号〕[平成23年12月] ・建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿[平成21年版] ・営繕工事写真撮影要領（H28年版） ・磁気探査実施要領（案）〔沖縄県土木建築部〕[平成25年4月] ・「沖縄県土木建築部における公共建設工事の分別解体等・再資源化等及び再生資源活用に関する実施要領」〔沖縄県土木建築部〕[平成18年12月] ・構造計画・施工計画の留意事項〔沖縄県土木建築部〕[平成25年4月] 登録する。ただし、工事請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。(1.1.4) 工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。 本工事は、余裕期間を設定【 して ・ しないで 】実施する工事である。 (1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。 (2) CORINDS登録については、実工期期間にて技術者の十時期間の登録を行うこと。 (3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は、不要とする。 (4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものである。 (5) 受注者は、着手関係書類（工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。				
工 事 名 称 平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度					
工 事 場 所 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	平成28年版建築改修工事特記仕様書-1					
発 注 機 関 渡嘉敷村			縮 尺	A1:1/50 A3:1/100					
摘 要			図面番	A-O-1					
検 印			管理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	翔建築設計事務所	
							資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子	
							登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号	
							所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1	

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項
4	外	壁	改	修	工	事	12	シャッター	(5.10.2) (5.11.2) (5.11.4)	(1) シャッターの種類：【 ・重量 () ・軽量 】 (2) 耐風圧強度： (3) 重量シャッターの場合のシャッターケース：【 ・設ける ・設けない 】 (4) スラットの形状：【 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング型 】	(1) 耐風圧性能の区分： (5.12.2) (2) 開閉機能：【 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 】 (3) 収納形式による区分：	(4) 防蟻処理、防虫処理の施工及び保証	(1) 社団法人日本しろあり対策協会の認定した「しろあり防除施工士」とする。ただし、工場における処理及び監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 (2) 元請業者と施工業者の連署による保証書を監督員に提出する。なお、保証期間は、処理施工後5年とする。							
														13	オーバーヘッドドア	(1) ガラスの種類及び厚さ等 ガラスの種類 厚さ等 備考 図示 (2) ガラス留め材 建具の種類 材種 シーリング (3) 熱線反射ガラスの映像調整： (4) ガラスブロックの材料及び工法 表面形状 呼び寸法 厚さ 壁用金属枠 補強材 色 金属製化粧カバー (5) ガラスブロック積みに用いる化粧目地モルタルの色：【 】 既設資材の処理及び処分方法：	5	軽量鉄骨天井地下	(1) 屋外の軽量鉄骨天井地下 野縁受、吊りボルト及びビニールサートの間隔 野縁の間隔 備考 (2) 既存の埋込みインサート：【 ・使用する ・使用しない 】 (3) あと施工アンカーの引抜き試験：【 ・行う (荷重 N程度) ・行わない 】 (4) 各補強の方法は、図示による。	
																				14
15	その他	7	カーベット敷き	(1) 帯電性の適用 【 ・有り ・無し 】 (2) 見切り、押さえ金物の材質、種類及び形状は図示による。																
					2	外壁改修塗り仕上げの種類	(4.1.5)	8	合成樹脂塗床	エポキシ樹脂系塗床の仕上げの種類：図示による。 (6.10.3)										
3	その他	既設資材の処理及び処分方法：	9	フローリング張り							(1) 畳の種別 【 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (種別：Ⅲ形) 】 (2) 畳表に使用する材料は沖縄県産とする。 (6.12.2)									
					5	改修工法	【 ・かぶせ工法 ○撤去工法 】 (5.1.3) ・新規に建具を設置する場合における開口の開け方及び補修方法：【 】	6	既存床の撤去等	(1) 見え掛り面の表面仕上げの程度 施工箇所 種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・A種 ・B種 ・C種 (2) 木材 (下地材) の含水率：※A種 ・B種 木材 (造作材) の含水率：※A種 ・B種 (3) 製材 【 ・「製材の日本農林規格」による ・「製材の日本農林規格」以外 】 【 ・下地用針葉樹製材 ・造作用針葉樹製材 ・広葉樹製材 ・ 施工箇所 樹種 寸法 等級又は品質 含水率 防虫処理・難燃処理 (表6.5.2) (表6.5.3) ・代用樹種の使用の禁止 (4) 造作用集成材 【 ・「集成材の日本農林規格」による ・「集成材の日本農林規格」以外 】 【 ・造作用集成材 ・化粧ばり造作用集成材 ・化粧ばり構造用集成材 ・ 施工箇所 樹種 寸法 等級又は品質 含水率 化粧薄板の厚さ (5) 造作用単板積層材 【 ・「単板積層材の日本農林規格」による ・「単板積層材の日本農林規格」以外による】 施工箇所 厚さ 表面の品質 含水率 防虫処理 (6) 床張り用合板等 【 ・普通合板 ・構造用合板 】 施工箇所 樹種 厚さ品質、等級等 接着の程度 防虫・難燃・防災・強度等 (7) パーティクルボード 施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤 難燃性 (8) 構造用パネル 施工箇所 厚さ 等級 土壌処理 (防蟻) (1) 施工箇所：「防除施工標準仕様書」 (社団法人日本しろあり対策協会発行) I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 4 処理の箇所 に準ずることとし、建築物の外周処理を含む。 (2) 処理薬剤：社団法人日本しろあり対策協会の認定品とする。 (3) 処理方法：「防除施工標準仕様書」 I 新築建築物しろあり予防処理標準仕様書 3 処理の方法 に準ずる。また、土間コンクリートを打設する部分には、薬剤処理後、厚さ0.15mmポリエチレンフィルム敷きを行う。 木材処理 (防蟻・防虫) (1) 施工箇所：合板、集成材等を除く全ての木材 (2) 処理方法：工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布する。 (3) 性能区分：性能区分は次による。ただし、監督員の指示を受けた部材については、その指示に従うものとする。 ア 造作材にラワン材等広葉樹を使用する場合は、JASの保存処理K1＋保存処理K3とする。 イ 構造材、下地材については、JASの保存処理K3とする。										
3	内装改修工事	2	木下地等	(6.5.1) (6.5.2)							10	フローリングボードの特殊張り	11	畳敷き	12	せっこうボード、その他ボード及び合板張り	(1) せっこうボード 規格名称 種類の記号 厚さ 施工箇所 目地工法の種類 (2) 合板の種類 合板の名称 施工箇所 その他の仕様 ※図示 (A～) による。 (6.13.2) (6.13.3) (表6.13.5) ※合板の木材処理 (防虫・防蟻) については、本特記仕様書第12章第3項及び第4項を適用する。 (3) 軽量鉄骨壁下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材：【 ・ 】			
					5	樹脂製建具	(5.3.2) (表5.3.1) (表5.3.2) (表5.3.3) (5.3.4) (5.3.5)	6	鋼製建具	(1) 建具の性能等 (5.4.2) (表5.2.1) (表5.4.1) 施工箇所 気密性 水密性 耐風圧性 備考 (材料等) (2) 特殊なドアセット等の適用及び等級 ドアセット等の種類 施工箇所 等級 備考 ・防音ドアセット ・断熱ドアセット (3) 鋼板の種類：【 ・JIS G 3302 ・JIS G 3317 】 (1) 建具の性能等 (5.6.2) (表5.2.1) (表5.4.1) 施工箇所 気密性 水密性 耐風圧性 備考 (2) 表面仕上げ：【 ※HL ・バイブレーション ・鏡面 ・ 】 (1) 建具用金物の材質、形状及び寸法 形式 金物の種類 見え掛り部の材質 備考 (2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。 (1) マスターキー：【 ・製作する ○製作しない 】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。 (1) 戸の開閉方法：【 ・引戸 ・開き戸 ・折戸 】 (5.8.3) (表5.8.3) (2) センサーの種類：										
7	鋼製軽量建具	(5.5.2) (5.5.3) (表5.2.1)	8	ステンレス製建具							(1) 建具の性能等 (5.6.2) (表5.2.1) (表5.4.1) 施工箇所 気密性 水密性 耐風圧性 備考 (2) 表面仕上げ：【 ※HL ・バイブレーション ・鏡面 ・ 】 (1) 建具用金物の材質、形状及び寸法 形式 金物の種類 見え掛り部の材質 備考 (2) 建具用金物の取付け位置等は、図示による。 (1) マスターキー：【 ・製作する ○製作しない 】 (2) 関連工事がある場合は、受注者間で協議し1つの鍵箱にまとめて納品する。 (1) 戸の開閉方法：【 ・引戸 ・開き戸 ・折戸 】 (5.8.3) (表5.8.3) (2) センサーの種類：									
					9	建具用金物	(5.7.2) (5.7.3) (表5.7.1)	10	鍵	(5.7.4)		11	自動ドア開閉装置	(5.8.3) (表5.8.3)						
16	セルフレベルング材塗り	(1) セルフレベルング材の種類：【 ・せっこう系 ・セメント系 】 (6.17.2) (表6.17.1) (2) セルフレベルング材の塗厚： (6.17.3) 既設資材の処理及び処分方法： 工事名称 平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業 工事年度 平成30年度 工事場所 沖縄県島尻郡渡嘉敷村宇渡嘉敷37番地 図面名称 平成28年版建築改修工事特記仕様書-3 発注機関 渡嘉敷村 縮尺 A1：ー A3：ー 摘要 図面番号 A-03 検印 官理建築士 設計 製図 設 名称 翔建築設計事務所 資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝連 安子 登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号 所在地 うるま市勝連平敷屋3650-1																		
			17	その他	(1) セルフレベルング材の種類：【 ・せっこう系 ・セメント系 】 (6.17.2) (表6.17.1) (2) セルフレベルング材の塗厚： (6.17.3) 既設資材の処理及び処分方法： 工事名称 平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業 工事年度 平成30年度 工事場所 沖縄県島尻郡渡嘉敷村宇渡嘉敷37番地 図面名称 平成28年版建築改修工事特記仕様書-3 発注機関 渡嘉敷村 縮尺 A1：ー A3：ー 摘要 図面番号 A-03 検印 官理建築士 設計 製図 設 名称 翔建築設計事務所 資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝連 安子 登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号 所在地 うるま市勝連平敷屋3650-1															

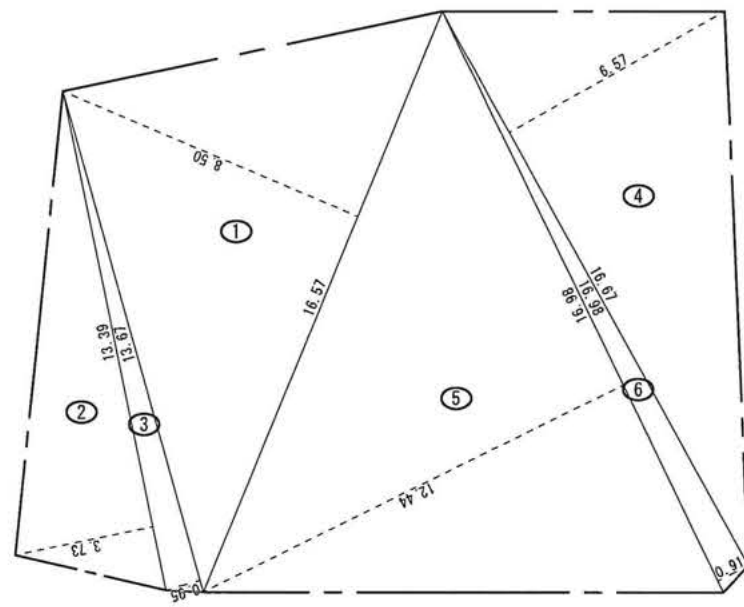
章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項	章	項	目	特記事項																																																																									
塗装改修工事	⑦	① 塗装の種類及び種別	<table><tr><td>塗装面</td><td>下地調整工程の種別</td><td>塗料の名称・種類</td><td>塗装工程の種別</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>一般</td><td>下地調整R8種</td><td>EP-G</td><td>工程B種</td><td>図示</td></tr></table> (7.1.7) (7.2.2) ～ (7.15.2)	塗装面	下地調整工程の種別	塗料の名称・種類	塗装工程の種別	施工箇所	一般	下地調整R8種	EP-G	工程B種	図示																																																																							
塗装面	下地調整工程の種別	塗料の名称・種類	塗装工程の種別	施工箇所																																																																																
一般	下地調整R8種	EP-G	工程B種	図示																																																																																
② 保証	(1) 元請業者、施工業者、製造所の三者連署による保証書を監督員に提出する。 (2) 保証期間は、工事完成後【 3 】年間とする。																																																																																			
③ その他	既設資材の処理及び処分方法：																																																																																			
8	1 既存部分の撤去等	(1) 既存構造体の撤去範囲及びはつりだした鉄筋及び鉄骨の処置は、図示による。 (2) 既存部分の目荒らしの程度：(8.21.2) (8.21.3) (8.22.2) (8.22.3) (8.23.2) (8.23.3) (8.25.2) (8.26.5) (8.27.2) (3) 既存部の取り合い部分の割裂補強筋の仕様：【 】(8.21.6) (8.22.7) (8.26.10)																																																																																		
	2 材料及び品質等	(1) 鉄筋 ア 鉄筋の種類等(8.2.1) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名(mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> イ 鉄筋の継手(8.3.4) (8.4.2) <table><tr><td>施工部位</td><td>継手の種類</td><td>備考(重ね継手の長さ等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ウ 鉄筋の定着長さ【 ※図示による。 ・ 】(表8.3.4) エ 帯筋組立の形 <table><tr><td>施工箇所</td><td>配筋の方法</td><td>その他特記すべき事項</td></tr><tr><td></td><td>【 ・ (参ー) による。 ・ 図示 】</td><td></td></tr></table> オ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、応力集中やコンクリートの充填性等について十分検討し、監督員の承諾を受けて施工すること。 カ 機械式継手、溶接継手の場合のあきの寸法：(8.3.5) キ 圧接部の超音波探傷試験：【 ・ 行う ・ 行わない 】(8.3.8) ク 機械式継手の種類： ・ 図示 (2) 溶接金網(8.2.2) <table><tr><td>網目の形状</td><td>寸法</td><td>鉄線の径</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (3) あと施工アンカー ア あと施工アンカーの材料(8.2.4) (8.12.5) <table><tr><td>種類</td><td>引張耐力</td><td>せん断耐力</td><td>径・埋込み深さ</td><td>アンカー及び接合</td><td>確認強度</td></tr><tr><td>金属系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>接着系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> イ アンカー筋の新設壁内への定着長さ：【 ・ 行う ・ 行わない 】 ウ あと施工アンカーの性能確認試験：【 ・ 実施する ・ 実施しない 】 エ 埋込み配管等の検査の範囲及び方法は、図示による。(8.12.2) (4) コンクリート ア コンクリートの種類等(8.1.3) (8.9.1) (表8.1.1) (表8.9.1) <table><tr><td>気乾単位容積質量による種類</td><td>類別等</td><td>設計基準強度(Fc)</td><td>施工部位</td></tr><tr><td>・普通コンクリート・軽量コンクリート</td><td>※Ⅰ類・Ⅱ類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・普通コンクリート・軽量コンクリート</td><td>※Ⅰ類・Ⅱ類</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・普通コンクリート・軽量コンクリート</td><td>※Ⅰ類・Ⅱ類</td><td></td><td></td></tr></table> イ 材齢28日圧縮強度の推定に用いる供試体は現場における「水中養生」とする ウ セメントの種類：【 ※普通ポルトランドセメント ・フライッシュセメントB種 ・ 】 エ フライッシュセメントB種の適用箇所：【 ・ 図示 ・ ・ 】 オ 骨材のアルカリシリカ反応性による区分：※A ・ B カ コンクリート打放し仕上げの種類等(8.1.4) (表8.1.3) (8.7.8) <table><tr><td>仕上りの種別</td><td>打増し厚さ</td><td>施工部位</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> キ 軽量コンクリート <table><tr><td>施工部位</td><td>種類</td><td>気乾単位容積質量</td></tr><tr><td></td><td>・Ⅰ種・Ⅱ種</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・Ⅰ種・Ⅱ種</td><td></td></tr></table> ク 水又は土に接する軽量コンクリートの使用： ・ 有り 【 使用箇所： ・ 図示 ・ ・ 】 ケ コンクリートの打込み工法：【 ・流込み工法 ・圧入工法】(8.21.8) (5) 鋼材 ア 鋼材の種類等(8.2.8) (表8.2.7) <table><tr><td>鋼材の記号の種類</td><td>適用箇所</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td>形状及び寸法は、図示による。</td></tr></table> イ 錆止め塗料の種別：【 ・ A種 ・ B種 】(8.17.3)	種類の記号	呼び名(mm)	備考				施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)				施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項		【 ・ (参ー) による。 ・ 図示 】		網目の形状	寸法	鉄線の径	備考					種類	引張耐力	せん断耐力	径・埋込み深さ	アンカー及び接合	確認強度	金属系						接着系						気乾単位容積質量による種類	類別等	設計基準強度(Fc)	施工部位	・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類			・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類			・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類			仕上りの種別	打増し厚さ	施工部位	備考					施工部位	種類	気乾単位容積質量		・Ⅰ種・Ⅱ種			・Ⅰ種・Ⅱ種		鋼材の記号の種類	適用箇所	備考		
種類の記号	呼び名(mm)	備考																																																																																		
施工部位	継手の種類	備考(重ね継手の長さ等)																																																																																		
施工箇所	配筋の方法	その他特記すべき事項																																																																																		
	【 ・ (参ー) による。 ・ 図示 】																																																																																			
網目の形状	寸法	鉄線の径	備考																																																																																	
種類	引張耐力	せん断耐力	径・埋込み深さ	アンカー及び接合	確認強度																																																																															
金属系																																																																																				
接着系																																																																																				
気乾単位容積質量による種類	類別等	設計基準強度(Fc)	施工部位																																																																																	
・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類																																																																																			
・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類																																																																																			
・普通コンクリート・軽量コンクリート	※Ⅰ類・Ⅱ類																																																																																			
仕上りの種別	打増し厚さ	施工部位	備考																																																																																	
施工部位	種類	気乾単位容積質量																																																																																		
	・Ⅰ種・Ⅱ種																																																																																			
	・Ⅰ種・Ⅱ種																																																																																			
鋼材の記号の種類	適用箇所	備考																																																																																		
		形状及び寸法は、図示による。																																																																																		
3 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事																																																																																				
4 鉄骨ブレース設置工事																																																																																				
5 柱補強工事																																																																																				
耐震改修工事	8	6 耐震スリット新設工事(8.25.2)																																																																																		
		7 免震・制震改修工事																																																																																		
		8 その他																																																																																		
		9 環境配慮工事																																																																																		
		1 アスベスト含有建材の処理(9.1.1)																																																																																		
		2 除去したアスベスト含有材の処分																																																																																		
		3 断熱アスファルト防水改修工事(9.2.3)																																																																																		
		ウ 耐火被覆の種類及び性能(8.18.2) <table><tr><td>耐火被覆の種類</td><td>性能</td><td>備考(適用箇所等)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> エ 板厚方向に引張りを受ける鋼板の試験：(8.2.13) (6) 高力ボルト ア 高力ボルトの種類等(8.2.9) (8.13.2) <table><tr><td>種類</td><td>径</td><td>絶縁距離</td><td>間隔</td><td>ゲージ</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> イ すべり係数試験：【 ・ 実施する ・ 実施しない 】 ウ 試験の方法、試験片の摩擦面の処理：【 ・ 図示 ・ ・ 】(8.14.2) (7) 溶接 ア 技能資格者の技能付加試験：【 ・ 行う ・ 行わない 】(8.15.3) イ 開先の形状等(8.15.4) (8.15.7) (8.15.11) <table><tr><td>開先の形状</td><td>エンドタブの有・無及び適用箇所</td><td>スカラップの形状</td><td>溶接部の試験</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ウ 錆止め塗料の種別：【 ・ A種 ・ B種 】(8.17.3) エ 耐火被覆の種類及び性能(8.18.2) <table><tr><td>種類</td><td>所要性能及び摘要箇所</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> オ 溶融亜鉛めっき高力ボルトを使用する場合の摩擦面の処理：(8.20.4) 【 ・ プラスト処理 ・ プラスト以外の処理方法及びすべり耐力等の確認方法： 】 (8) モルタル及びグラウト材 ア モルタルの圧縮強度及びフロー値：(8.2.6) (8.2.12) <table><tr><td>材料</td><td>工法</td><td>引張り強度</td><td>ヤング係数</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <	耐火被覆の種類	性能	備考(適用箇所等)				種類	径	絶縁距離	間隔	ゲージ	備考							開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験					種類	所要性能及び摘要箇所			材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考																																															
耐火被覆の種類	性能	備考(適用箇所等)																																																																																		
種類	径	絶縁距離	間隔	ゲージ	備考																																																																															
開先の形状	エンドタブの有・無及び適用箇所	スカラップの形状	溶接部の試験																																																																																	
種類	所要性能及び摘要箇所																																																																																			
材料	工法	引張り強度	ヤング係数	備考																																																																																



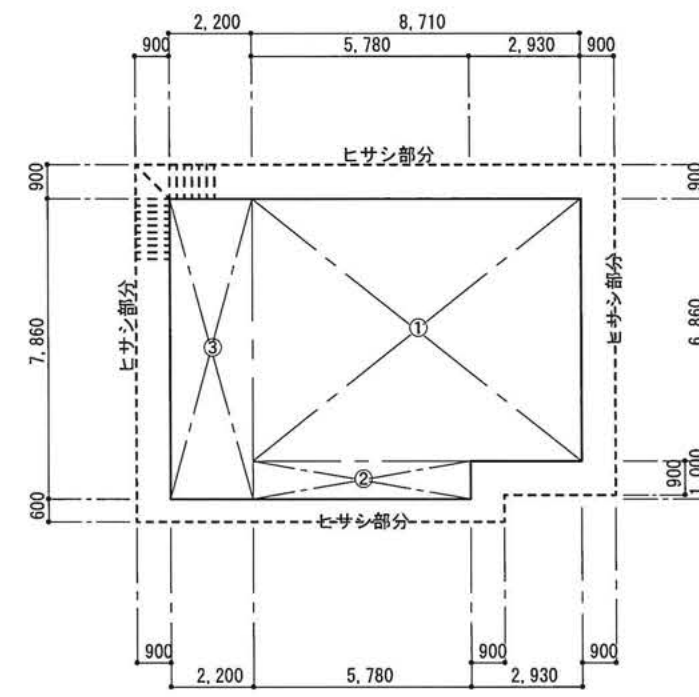
工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工事年度	平成30年度	
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図面名称	案内図	
発注機関	渡嘉敷村			縮尺	A1:— A3:—	
摘要				図面番号	A-05	
検印	官理建築士	設計	製図	設計者	名称	翔建築設計事務所
					資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
					登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
					所在地	うるま市勝達平敷屋3650-1



配置図 S=1/100



求積図 S=1/100



面積算定図 S=1/100

建築面積算定

① $8.71 \times 6.86 = 59.7506$
② $5.78 \times 1.00 = 5.7800$
③ $2.20 \times 7.86 = 17.2920$
合計 = 82.8226
≒ 82.82 m²

床面積算定

① $8.71 \times 6.86 = 59.7506$
② $5.78 \times 1.00 = 5.7800$
③ $2.20 \times 7.86 = 17.2920$
合計 = 82.8226
≒ 82.82 m²

敷地面積算定表 (37番地)

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	16.57	8.50	140.8450	70.42250
2	13.39	3.73	49.9447	24.97235
3	13.67	0.95	12.9865	6.49325
4	16.67	6.57	109.5219	54.76095
5	16.98	12.44	211.2312	105.61560
6	16.98	0.91	15.4518	7.72590
合 計				269.99055
敷 地 面 積				269.99 m ²

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	配置図・面積算定図
発 注 機 関	渡嘉敷村			縮 尺	A1:1/100 A3:1/200
摘 要				図 面 番 号	A-06
検 印	官理建築士	設 計	製 図	設 名 称	翔建築設計事務所
				資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
				登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
				所 在 地	うるま市勝連平敷屋3650-1

建 築 概 要		建 物 概 要	
工 事 名 称	古民家活用改修工事	用途区分	08010 1戸建ての住宅
建 築 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	構 造	補強コンクリートブロック造 木造小屋組み 平屋建て
都市計画・用途地域	都市計画区域外	建築面積	82.82 m ²
道 路	幅員：3,100～3,340	延べ面積	82.82 m ²
敷 地 面 積	269.99m ²	最高の高さ	4.61 m
工 事 種 別	改修工事（模様替え）	軒の高さ	2.76 m

外 部 仕 上 表								
部 位		仕 上	部 位		仕 上	部 位		仕 上
床	改修前	犬走り：コンクリート直均し仕上	軒 天	改修前	コンクリート打放し補修の上塗装仕上げ（ＥＰ）	開 口 部	改修前	アルミ製建具
	改修後	既存のまま		改修後	高圧洗浄の上ひび割れ補修・ひび割れ欠損補修の上塗装仕上げ（ＥＰ－Ｇ改修）		改修後	建付け調整・不具合金物取り替え
外 壁	改修前	厚：150ＣＢ積みの上モルタルヌリ塗装仕上げ（ＥＰ）	屋 根	改修前	琉球瓦漆喰塗り仕上げ（撤去）			
	改修後	高圧洗浄の上ひび割れ補修の上塗装仕上げ（ＥＰ－Ｇ改修）		改修後	S型瓦葺き 瓦棧：21×33（新設）厚：15mm耐水合板下地改質アスファルトルーフィングステープル留め（22kg/厚さ：1.3mm）			

内 部 仕 上 表														
階	室 名		床	床高	幅 木	高さ	腰 壁	塗装	壁	塗装	天 井	塗装	天井高	備 考
1 階	改修前	玄 関	コンクリート土間直均し	200	—	—	モルタル素地・一部杉板張り	—	モルタル素地・一部杉板張り	—	コンクリート打放し素地	—	2,260	地袋収納（撤去）
	改修後	玄 関	コンクリート土間直均し（現況のまま）				既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ	EP-G		収納棚（新設）
	改修前	ローカ	厚15mm 杉フローリング張り（撤去）	550	杉	55	モルタル素地・一部杉板張り	—	モルタル素地・一部杉板張り	EP-G	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,280	
	改修後	ローカ	厚15mm 杉フローリング張り ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）		杉CL	—	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G CL	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G	厚：5.5mm耐水合板下地（新設） 厚：9mm吸音板張り（新設）	—		
	改修前	床の間	厚15mm 杉板張りの上畳敷き（床・畳撤去）	550	畳寄	55	モルタル素地・一部杉板張り	—	モルタル素地・一部杉板張り	—	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,370	収納・床（撤去）
	改修後	床の間	厚15mm 杉板張りの上畳敷き込み（床・畳新設）		既存のまま		既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	EP-G	和風天井張り（新設）	—		収納（新設）
	改修前	仏 間	厚15mm 杉板張りの上畳敷き（床・畳撤去）	550	畳寄	55	杉板張り	—	杉板張り	—	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,370	仏壇（撤去）
	改修後	和 室	厚15mm 杉板張りの上畳敷き込み（床・畳新設）		既存のまま	—	既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	—	既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	—	和風天井張り（新設）	—		収納（新設）
	改修前	食事室	厚15mm 杉板張りの上畳敷き（床・畳撤去）	550	畳寄	55	杉板張り	—	杉板張り	—	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,370	収納（撤去）
	改修前	板の間	厚15mm 杉板張り（床撤去）	550	杉	50	モルタル素地・一部杉板張り	—	モルタル素地・一部杉板張り	—	コンクリート打放し素地 杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,330	収納（撤去）
	改修後	食事室 板の間	厚15mm 杉フローリング張り（新設） ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）	550	杉 CL	50	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	—	既存モルタル面：洗浄の上塗装仕上げ（補修） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	—	厚：5.5mm耐水合板下地 厚：9mm吸音板張り（新設） 既存コンクリート面：洗浄の上塗装仕上げ	EP-G	2,330 2,370	収納（新設）
	改修前	台 所	厚15mm 杉フローリング張り（床撤去）	550	杉	50	モルタル素地・一部杉板張り	—	モルタル素地・一部杉板張り	—	小屋組みき出し	—	2,430 3,300	流し台（撤去）・コンロ台（撤去）
	改修後	台 所	厚15mm 杉フローリング張り（新設） ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）	550			既存モルタル面：108角壁タイル貼り（新設） 既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）	—	既存モルタル面：108角壁タイル貼り（新設） 既存壁杉板下地化粧合板張り（新設）	—	厚：5.5mm耐水合板下地（新設） 厚：9mm吸音板張り（新設）	—	2,430	流し台セット（新設）
	改修前	裏座 1	厚15mm 杉板張りの上畳敷き（床・畳撤去）	550	畳寄	55	化粧合板張り・一部杉板張り（撤去）	—	化粧合板張り・一部杉板張り（撤去）	—	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,280	
	改修前	裏座 2	厚15mm 杉板張り（床撤去）	550	杉	55	化粧合板張り・一部杉板張り（撤去）	—	化粧合板張り・一部杉板張り（撤去）	—	杉板張り竿縁天井（撤去）	—	2,390	収納（撤去）
	改修後	裏 座	厚15mm 杉フローリング張り（新設） ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）	550	杉 CL	50	既存壁杉板下地 厚：4mm化粧合板張り（新設）		化粧合板張り（新設）	—	厚：5.5mm耐水合板下地（新設） 厚：9mm吸音板張り（新設）	—	2,290	収納（新設）
	改修前	洋 室	厚15mm フローリング張り（塗装改修）	350	杉 CL	50	化粧合板張り	—	化粧合板張り	—	厚：5.5mm耐水合板下地（一部撤去） 厚：9mm吸音板張り（一部撤去）	—	2,150	
	改修後	洋 室	厚15mm フローリング張り（既存のまま） 既存床補修の上ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）	350	既存のまま	50	既存のまま		既存のまま	—	厚：5.5mm耐水合板下地（一部新設） 厚：9mm吸音板張り（一部新設）	—	2,150	
	改修前	前 室	厚15mm フローリング張り（塗装改修）	350	杉 CL	50	化粧合板張り	—	化粧合板張り	—	厚：5.5mm耐水合板下地 厚：9mm吸音板張り	—	2,150	
	改修後	前 室	厚15mm フローリング張り（既存のまま） 既存床補修の上ウレタン樹脂ワニス塗り塗り（U C）	350	既存のまま	50	既存のまま		既存のまま	—	厚：5.5mm耐水合板下地（既存のまま） 厚：9mm吸音板張り（既存のまま）	—		
	改修前	シャワー室・トイレ	50角床タイル貼り	250	—	—	108角壁タイル貼り	—	モルタル塗りの上塗装仕上げ	EP	厚：5mmフレキシブルボード張り塗装仕上げ	EP-G	2,120	
	改修後	シャワー室・トイレ	既存のまま	250	—	—	既存のまま	—	既存のまま	EP	既存のまま	EP-G		

※特記事項

- 内部構造材・造作材はペーパー掛けの上塗装仕上げとする。（CL塗り）
- 取替の必要な木材については、協議調整する。
- 天井仕上げ材の撤去新設については、天井下地組を新設工事に含むものとする。
- 高圧洗浄機の圧力は、15Mpa以上とする。
- 設計図書に表示なき補修等改修が必要なヶ所については協議にる。

凡 例	表示略語		表示事項
	塗 装	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り
		EP-G	合成樹脂エマルジョンペイント塗り（つや有）
		CL	クリヤラッカー塗り
		UC	ウレタン樹脂ワニス塗り

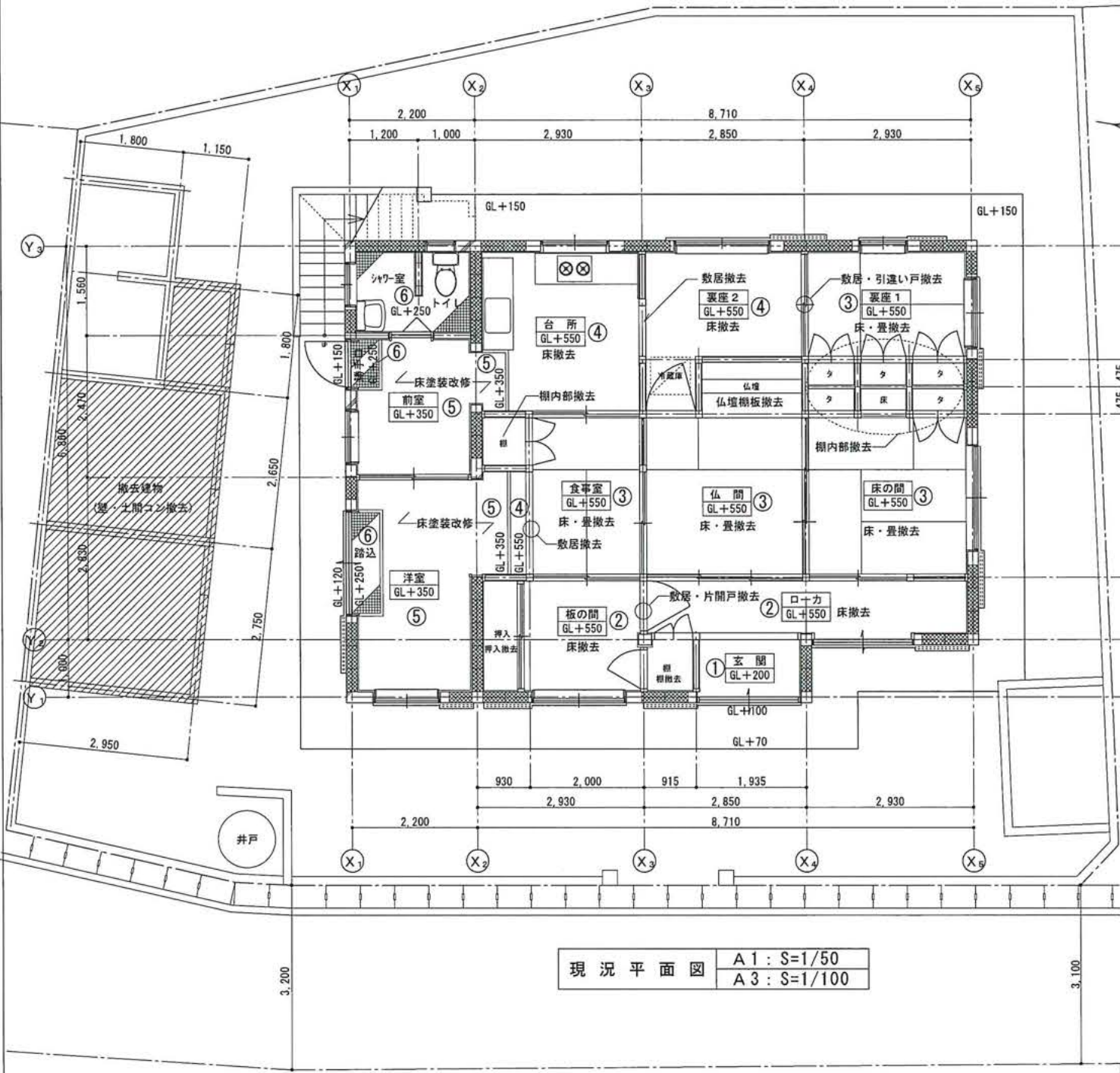
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	建築概要・仕上げ表
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1：— A3：—
摘 要	図 面 番 号 A-07		
検 印	官理建築士	設 計	製 図
		設 計 者	名 称 資格者氏名 登録番号 所 在 地
			翔建築設計事務所 1級建築士 第218620号 勝達 安子 1級建築士事務所登録 第109-3621号 うるま市勝達平敷屋3650-1

改修前

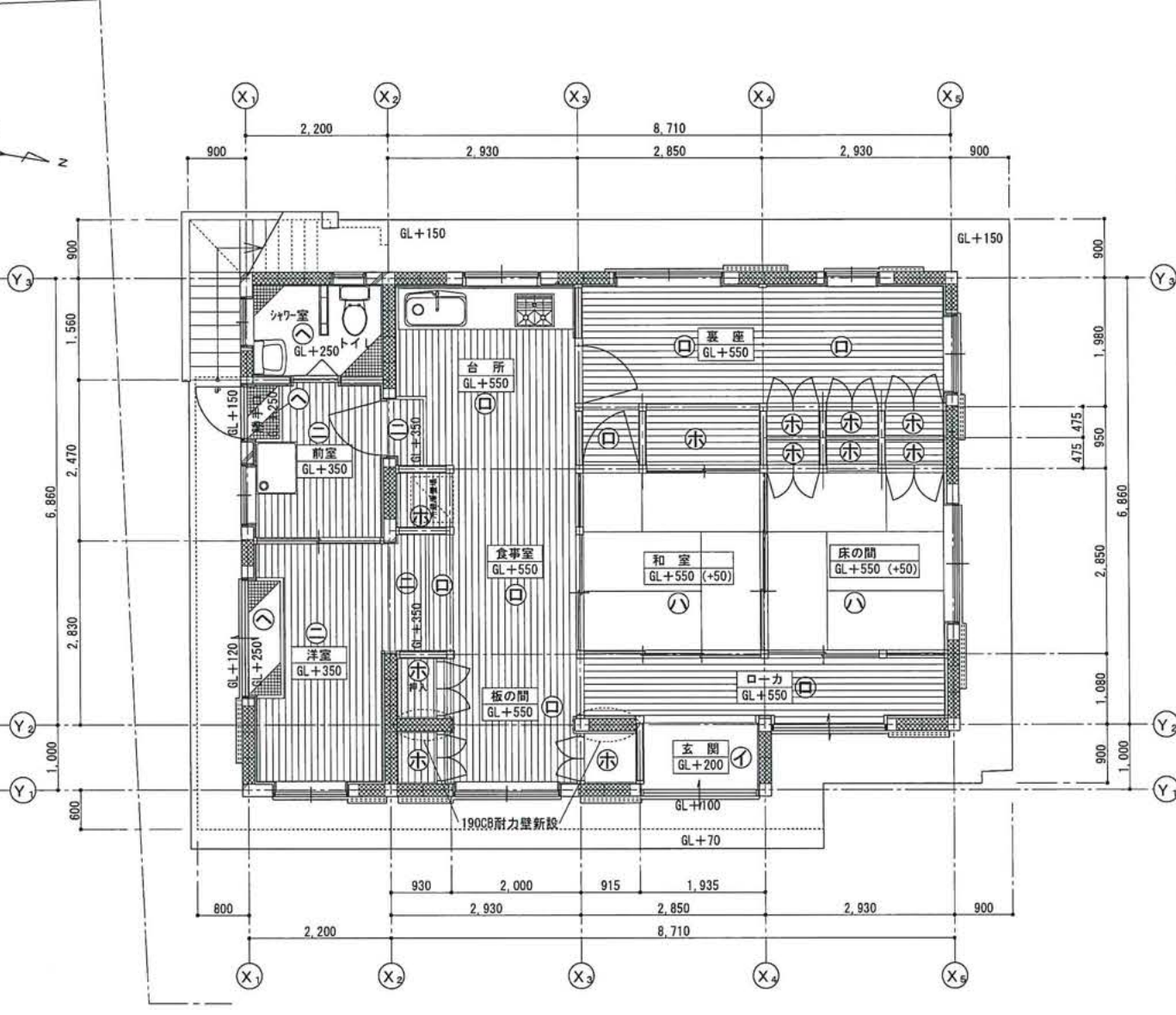
符 号	仕 上
①	コンクリート土間直均し
②	厚15mm 杉フローリング張り (撤去)
③	厚15mm 杉板張りの上畳敷き (撤去)
④	厚15mm 杉板張り (撤去)
⑤	厚15mm フローリング張り (塗装改修)
⑥	50角床タイル貼り
○	

改修後

符 号	仕 上
①	コンクリート土間直均し (既存のまま)
㊦	厚15mm 杉フローリング張りの上塗装仕上げ (UC) (新設)
㊨	厚15mm 杉板張りの上畳敷き (新設)
㊩	厚15mm フローリング張り既存床サンダー掛けの上塗装仕上げ (UC)
㊪	厚15mm 杉フローリング張り塗装仕上げ (UC) (新設)
㊫	50角床タイル貼り (既存のまま)
○	

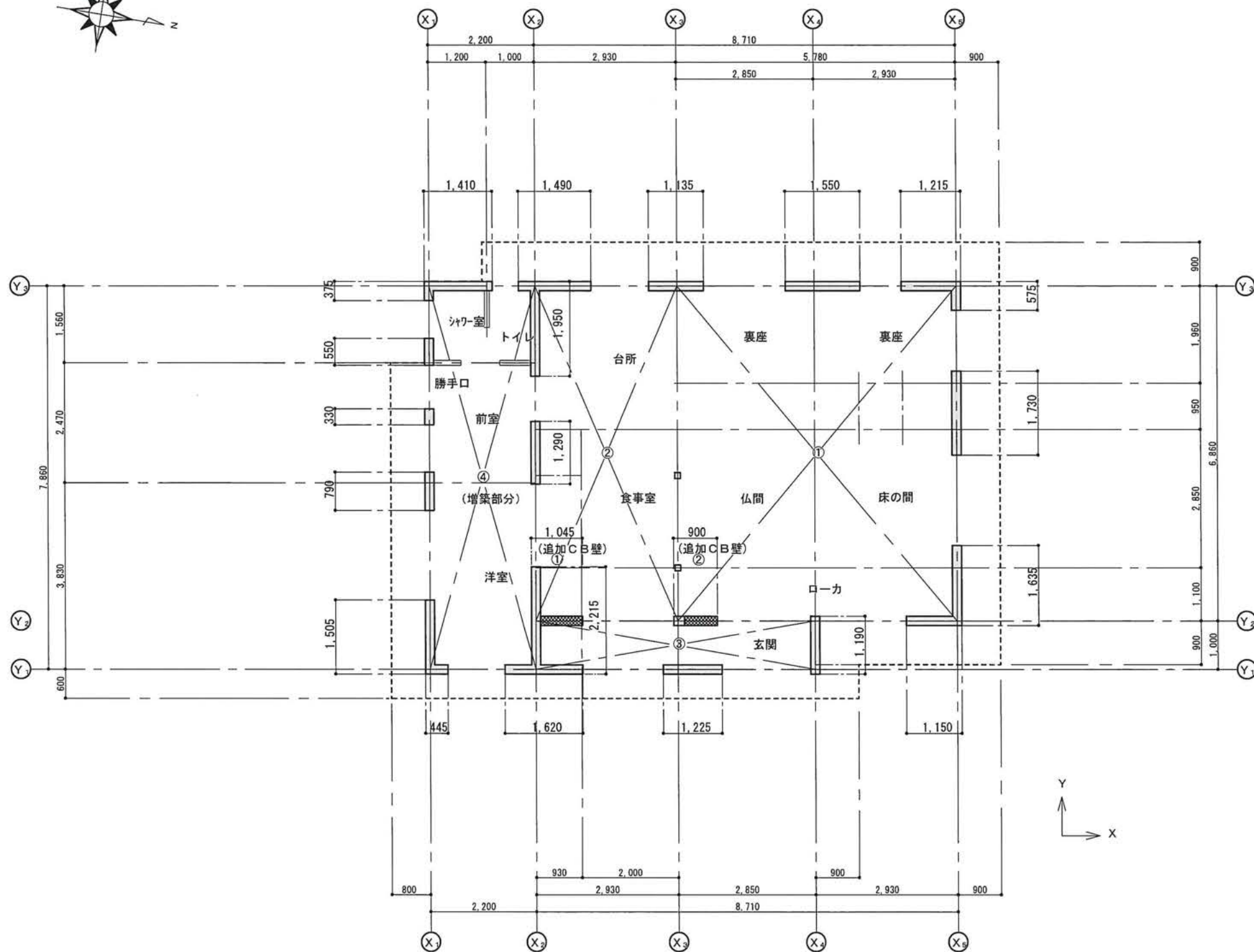
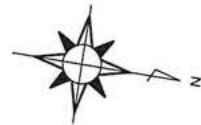


現況平面図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



改修後平面図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	平面図
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
摘 要		図 面 番 号	A-08
検 印	官理建築士	設 計	製 図
		設 計	名 称
		資 格 者 氏 名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
		登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1



ブロック割平面図	A1 : S=1/50
	A3 : S=1/100

壁量計算

床面積 $\leq 60 \text{ m}^2$ OK

- ① $5.78 \times 6.86 = 39.6508$
- ② $2.93 \times 6.86 = 20.0998$
- ③ $5.78 \times 1.00 = 5.7800$
- ④ $2.20 \times 7.86 = 17.2920$

合計 $= 82.8226$
 $\approx 82.82 \text{ m}^2$

壁量

$\Sigma X = 1.410 + 1.490 + 1.135 + 1.550 + 1.215$

$+ 1.620 + 1.225 + 1.150 = 10.795 \text{ m}$

$10.795 / 82.82 = 0.1303 \approx 13.03 \text{ cm} < 15 \text{ cm} \dots \text{NG}$

(追加CB壁) $10.795 + 1.040 + 0.900 = 12.735 \text{ m}$

$12.735 / 82.82 = 0.1537 \approx 15.37 \text{ cm} > 15 \text{ cm} \dots \text{OK}$

(対隣壁距離) $0.19 \text{ cm} \times 50 = 9.5 \text{ m} > 8.71 \text{ m} \dots \text{OK}$

$\Sigma Y = 1.505 + 0.790 + 0.550 + 2.215 + 1.290 + 1.950$

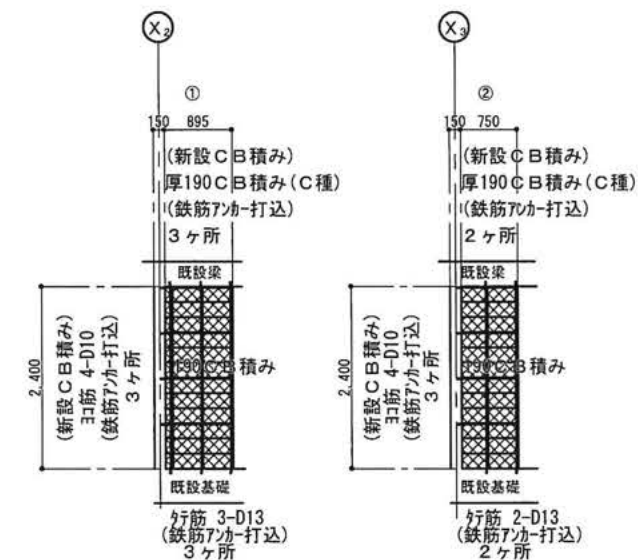
$+ 1.190 + 1.635 + 1.730 + 0.57 + 0.9755 = 13.430 \text{ m}$

$13.430 / 82.82 = 0.1622 \approx 16.22 \text{ cm} > 15 \text{ cm} \dots \text{OK}$

(対隣壁距離) $0.19 \text{ cm} \times 50 = 9.5 \text{ m} > 7.86 \text{ m} \dots \text{OK}$

使用材料

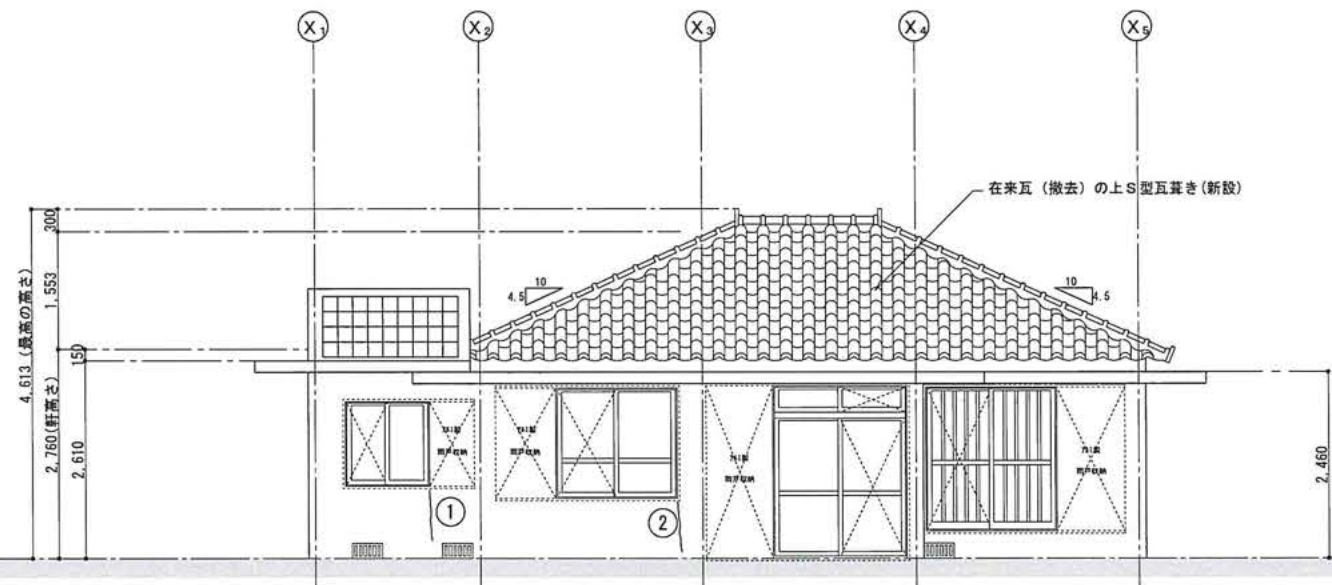
厚190mm 補強コンクリートブロック造



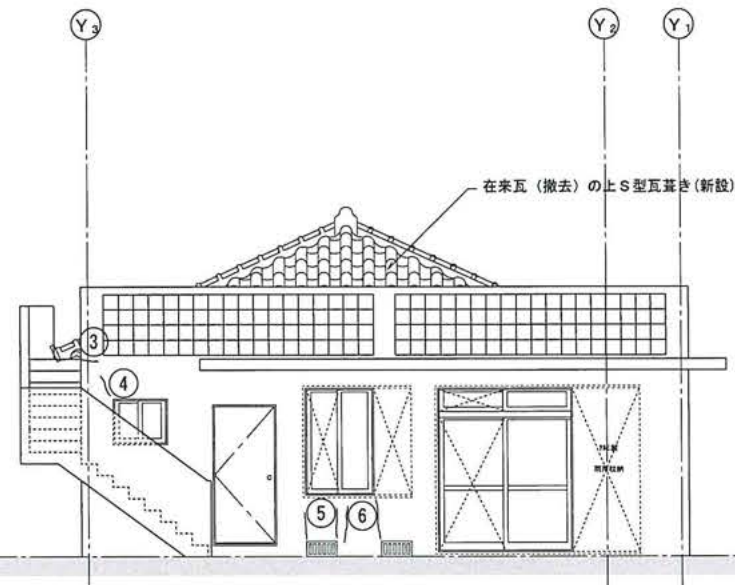
新設CB積み詳細図	A1 : S=1/50
	A3 : S=1/100

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	ブロック割平面図・壁量計算
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-09
検印	官理建築士	設計	製図
		設計	名称
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1

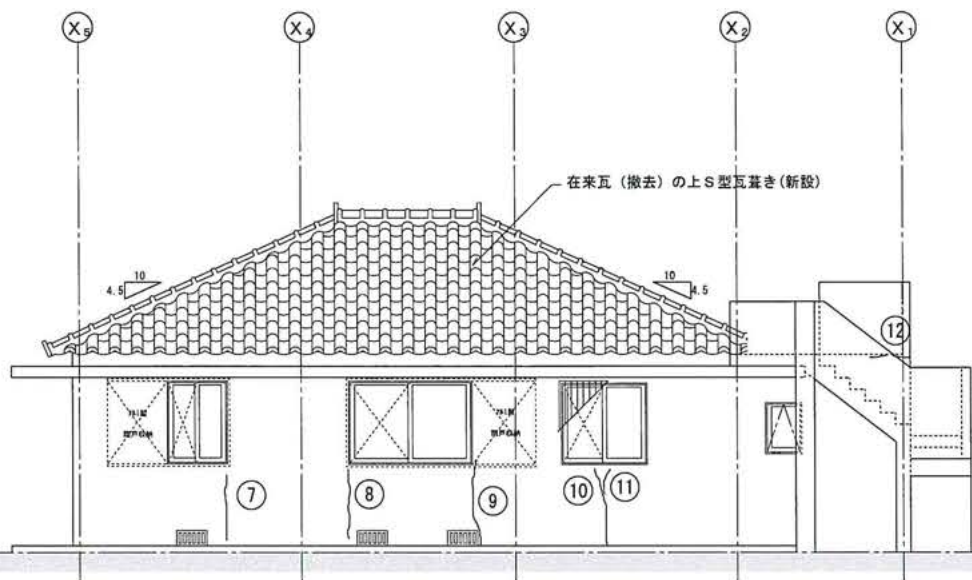
外部仕上表		
位 置	改 修 前	改 修 後
外 壁	コンクリートブロック積み下地モルタル塗りの上塗装仕上げ（EP）	高圧洗浄の上ひび割れ補修塗装仕上げ（EP-G塗り）
手すり	200角マスブロック積塗装仕上げ（EP）	高圧洗浄の上塗装仕上げ（EP-G塗り）
庇上面 （壁立上り）	コンクリート金ゴテ仕上げ	高圧洗浄の上塗膜防水（X-2）
庇裏（軒面）	コンクリート打ち放し補修の上塗装仕上げ（EP）	高圧洗浄の上塗装仕上げ（EP-G塗り）
屋 根	参照屋根伏図	参照屋根伏図



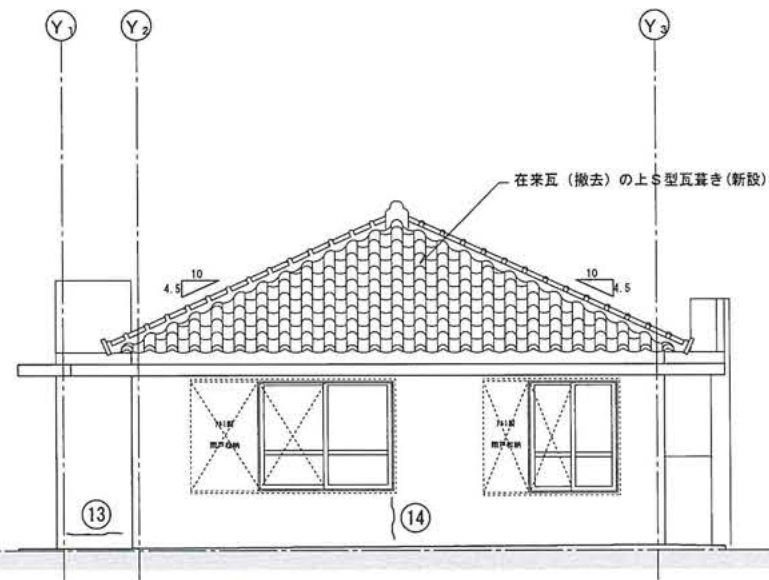
立面図 S=1/50
A3: S=1/100



立面図 S=1/50
A3: S=1/100



立面図 S=1/50
A3: S=1/100

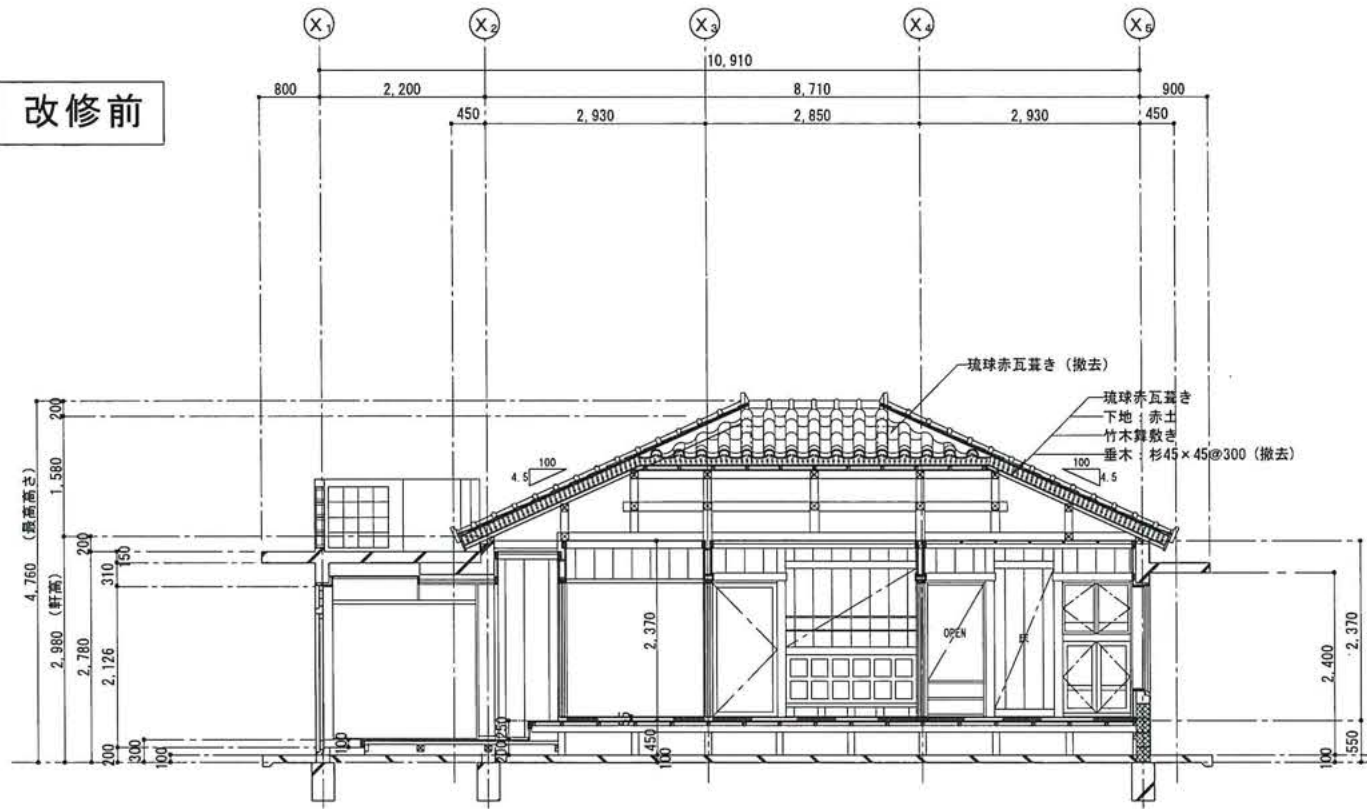


立面図 S=1/50
A3: S=1/100

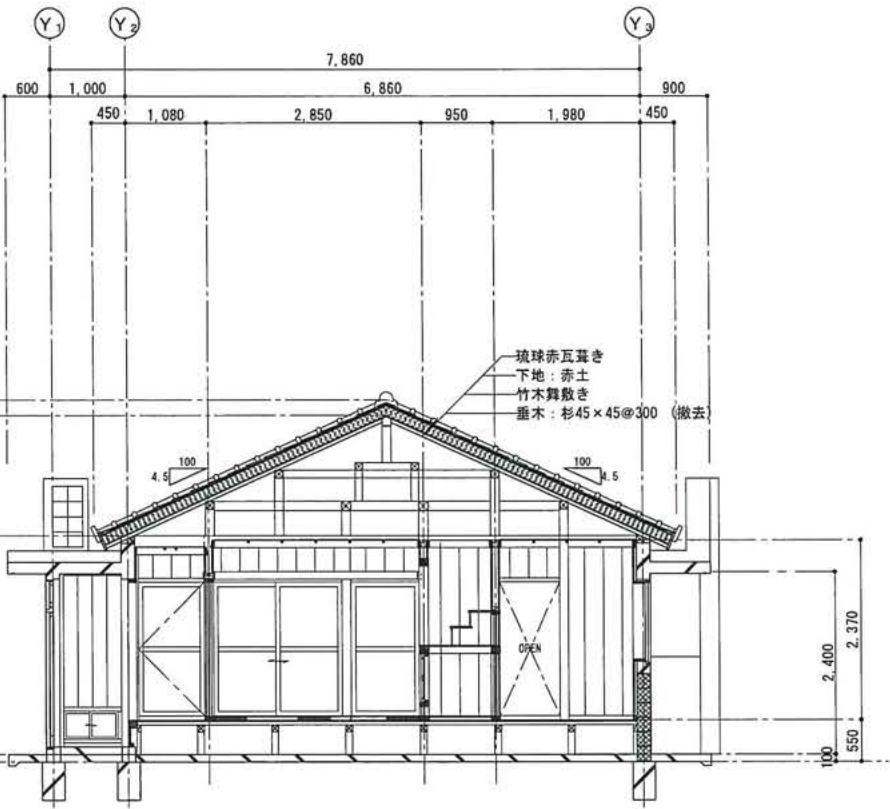
ひび割れ補修（樹脂注入工法）				ひび割れ補修（樹脂注入工法）				ひび割れ補修（樹脂注入工法）				ひび割れ補修（樹脂注入工法）			
番号	幅：W	長さ：L	数量（ヶ所）	番号	幅：W	長さ：L	数量（ヶ所）	番号	幅：W	長さ：L	数量（ヶ所）	番号	幅：W	長さ：L	数量（ヶ所）
①	0.20	850	1	⑤	0.20	300	2	⑨	0.40	900	1	⑬	0.20	700	1
②	0.25	700	1	⑥	0.20	600	2	⑩	0.30	1,000	1	⑭	0.20	600	1
③	0.20	200	1	⑦	0.20	850	1	⑪	0.20	400	1				
④	0.25	300	1	⑧	0.20	900	1	⑫	0.20	200	2				

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	立面図
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-10
検印	官理建築士	設計	製図
		設計者	翔建築設計事務所
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1

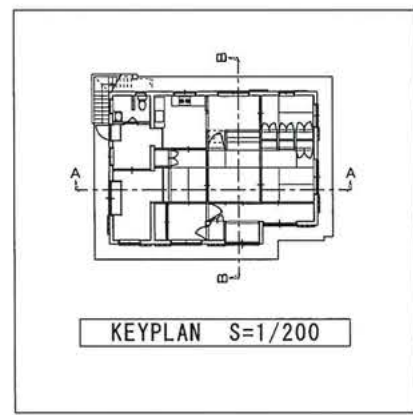
改修前



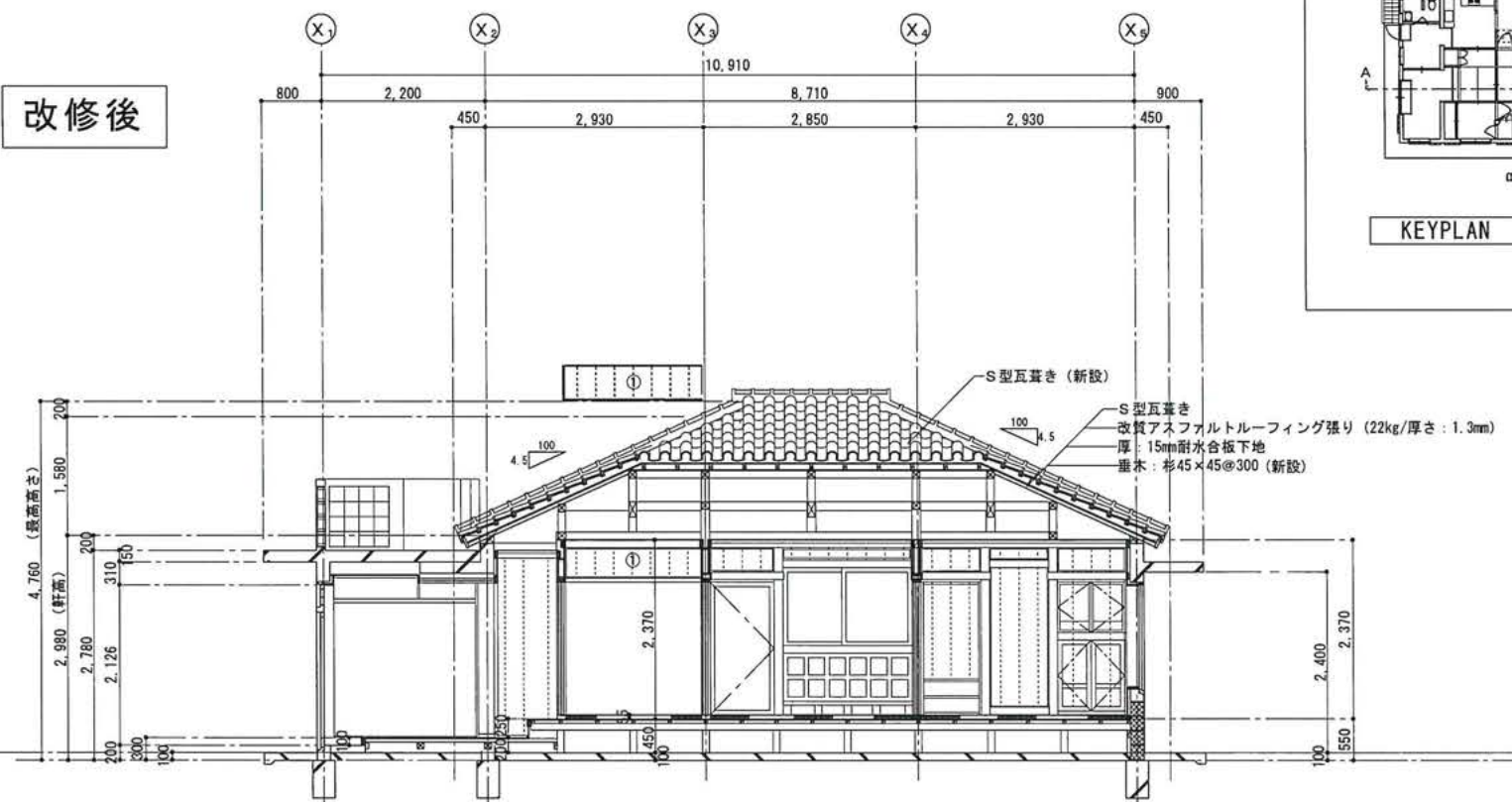
現況断面図 S=1/50
A3 : S=1/100



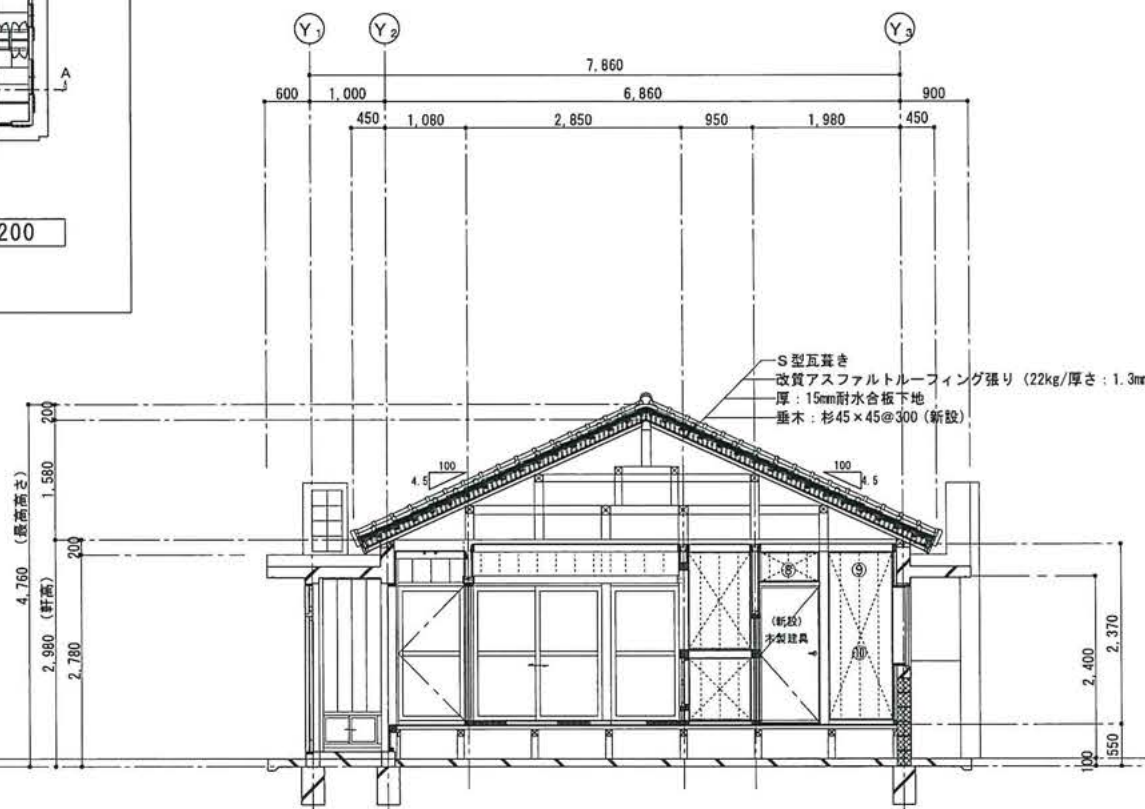
現況断面図 S=1/50
A3 : S=1/100



改修後



改修後断面図 S=1/50
A3 : S=1/100



改修後断面図 S=1/50
A3 : S=1/100

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	断面図
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-11
検印	官理建築士	設計	製図
		設	名
		計	称
		者	翔建築設計事務所
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1

(改修前)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
玄 関	床 : コンクリート打放し仕上げ 壁 : CB下地面 : モルタル塗り仕上げ 木下地面 : 厚9mm杉板張り 天井 : コンクリート打放し仕上げ 備考 :																																																
(改修後)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
玄 関	床 : コンクリート打放し仕上げ (現況のまま) 壁 : 既存モルタル塗り仕上げの上塗装仕上げ (EP-G改修) ① ~ ④ 既存厚9mm杉板張り下地化粧合板張り ① ~ ③ 胴縁下地 ② ③ 天井 : 既存コンクリート打放し仕上げの上塗装仕上げ (EP-G改修) 備考 :																																																
(改修前)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
ローカ	床 : 厚15mm杉フローリング張り (撤去) 壁 : CB下地面 : モルタル塗り仕上げ 木下地面 : 厚9mm杉板張り 天井 : 厚9mm杉板張り竿縁天井 (撤去) 備考 :																																																
(改修後)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
ローカ	床 : 厚15mm杉フローリング張り (新設) 壁 : 既存モルタル塗り仕上げの上塗装仕上げ (EP-G改修) ① ~ ⑥ 既存厚9mm杉板張り下地化粧合板張り ① ~ ④ 新設190CB積みモルタル塗りの上 (EP-G改修) ⑤ 天井 : 厚5.5mmラワン合板下地 厚9mm化粧吸音版張り (新設 天井地下地組合む) 備考 :																																																
	<table><tr><td>工 事 名 称</td><td>平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工 事 年 度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工 事 場 所</td><td>沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地</td><td>図 面 名 称</td><td>展開図-1</td></tr><tr><td>発 注 機 関</td><td>渡嘉敷村</td><td>縮 尺</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="3">図 面 番 号 A-12</td></tr><tr><td rowspan="4">検 印</td><td>官理建築士</td><td>設 計</td><td>製 図</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>名 称</td><td>翔建築設計事務所</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>資格者氏名</td><td>1級建築士 第218620号 勝達 安子</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>登 録 番 号</td><td>1級建築士事務所登録 第109-3621号</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>所 在 地</td><td>うるま市勝達平敷屋3650-1</td></tr></table>				工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度	工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-1	発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	摘 要	図 面 番 号 A-12			検 印	官理建築士	設 計	製 図												名 称	翔建築設計事務所			資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子			登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号			所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度																																														
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-1																																														
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100																																														
摘 要	図 面 番 号 A-12																																																
検 印	官理建築士	設 計	製 図																																														
		名 称	翔建築設計事務所																																														
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子																																														
		登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号																																														
		所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1																																														

(改修前)																																						
仏間	床：厚15mm杉板下地張り（撤去）タタミ敷き（撤去） 壁：厚9mm杉板張り 天井：厚9mm杉板張り竿縁天井（撤去） 備考：仏壇段板撤去																																					
(改修後)																																						
和室	床：厚15mm杉板下地張り タタミ敷き（新設） 壁：既存厚9mm杉板張り下地化粧合板重ね張り①～⑩（新設） 天井：既存コンクリート打放し仕上げの上塗装仕上げ（E-P-G改修） 備考：収納に改修																																					
(改修前)																																						
床の間	床：厚15mm杉板下地張り（撤去）タタミ敷き（撤去） 壁：C/B下地面：モルタル塗り仕上げ 木下地面：厚9mm杉板張り 天井：既存厚9mm杉板張り竿縁（撤去） 備考：収納造り付																																					
(改修後)																																						
床の間	床：厚15mm杉フローリング張り（新設） 壁：既存モルタル面補修の上塗装仕上げ（E-P-G改修）① 既存厚9mm杉板張り下地化粧合板張り ①～⑩ 天井：厚5.5mmラワン合板下地 厚9mm化粧吸音版張り（新設 天井下地含む） 備考：収納改修																																					
				<table><tr><td>工事名称</td><td colspan="2">平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工事年度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工事場所</td><td colspan="2">沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地</td><td>図面名称</td><td>展開図-2</td></tr><tr><td>発注機関</td><td colspan="2">渡嘉敷村</td><td>縮尺</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td></tr><tr><td>摘要</td><td colspan="2"></td><td>図面番号</td><td>A-13</td></tr><tr><td rowspan="4">検印</td><td>官理建築士</td><td>設計</td><td>製図</td><td rowspan="4">設計者 名称 翔建築設計事務所 資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝達 安子 登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号 所在地 うるま市勝達平敷屋3650-1</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業		工事年度	平成30年度	工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地		図面名称	展開図-2	発注機関	渡嘉敷村		縮尺	A1:1/50 A3:1/100	摘要			図面番号	A-13	検印	官理建築士	設計	製図	設計者 名称 翔建築設計事務所 資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝達 安子 登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号 所在地 うるま市勝達平敷屋3650-1									
工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業		工事年度	平成30年度																																		
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地		図面名称	展開図-2																																		
発注機関	渡嘉敷村		縮尺	A1:1/50 A3:1/100																																		
摘要			図面番号	A-13																																		
検印	官理建築士	設計	製図	設計者 名称 翔建築設計事務所 資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝達 安子 登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号 所在地 うるま市勝達平敷屋3650-1																																		

(改修前)																																					
姿 図 寸 法 S=1/50																																					
台 所	床：厚15mm杉板フローリング張り（撤去） 壁：CB下地面：モルタル塗り仕上げ 木下地面：厚9mm杉板張り 天井：天井仕上げ材無し 備考：																																				
(改修後)																																					
姿 図 寸 法 S=1/50																																					
台 所	床：厚15mm杉板フローリング張り 珪藻土塗装（新設） 壁：既存モルタル塗り仕上げの上塗装仕上げ（EP-G改修）①～⑩ 一部キッチンパネル張り① 既存厚9mm杉板張り下地化粧合板張り②～⑩ 108角壁陶器質タイル張り⑦ 天井：厚5.5mmラワン合板下地 厚9mm化粧吸音版張り（新設 天井下地組合む） 備考：																																				
(改修前)																																					
姿 図 寸 法 S=1/50																																					
裏座 1	床：厚15mm杉板下地張り（撤去） 壁：CB下地面：モルタル塗り仕上げ 木下地面：厚9mm杉板張り 天井：厚9mm杉板張り竿縁天井（撤去） 備考：造り付収納（改修）																																				
(改修後)																																					
姿 図 寸 法 S=1/50																																					
裏座 1	床：厚15mm杉フローリング張り 珪藻土塗装（新設） 壁：既存化粧合板張り撤去の上新設化粧合板張り① 既存厚9mm杉板張り下地化粧合板張り②～⑩ 天井：厚5.5mmラワン合板下地 厚9mm化粧吸音版張り（新設 天井下地組合む） 備考：造り付収納（改修）																																				
	<table><tr><td>工 事 名 称</td><td>平成30年度波嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工 事 年 度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工 事 場 所</td><td>沖縄県島尻郡波嘉敷村字波嘉敷37番地</td><td>図 面 名 称</td><td>展開図-4</td></tr><tr><td>発 注 機 関</td><td>波嘉敷村</td><td>縮 尺</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="3">図 面 番 号 A-15</td></tr><tr><td rowspan="5">検 印</td><td>官理建築士</td><td>設 計</td><td>製 図</td></tr><tr><td></td><td>設 計 者</td><td>翔建築設計事務所</td></tr><tr><td></td><td>資格者氏名</td><td>1級建築士 第218620号 勝連 安子</td></tr><tr><td></td><td>登録番号</td><td>1級建築士事務所登録 第109-3621号</td></tr><tr><td></td><td>所 在 地</td><td>うるま市勝連平敷屋3650-1</td></tr></table>					工 事 名 称	平成30年度波嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度	工 事 場 所	沖縄県島尻郡波嘉敷村字波嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-4	発 注 機 関	波嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	摘 要	図 面 番 号 A-15			検 印	官理建築士	設 計	製 図		設 計 者	翔建築設計事務所		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号		所 在 地	うるま市勝連平敷屋3650-1
工 事 名 称	平成30年度波嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度																																		
工 事 場 所	沖縄県島尻郡波嘉敷村字波嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-4																																		
発 注 機 関	波嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100																																		
摘 要	図 面 番 号 A-15																																				
検 印	官理建築士	設 計	製 図																																		
		設 計 者	翔建築設計事務所																																		
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子																																		
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号																																		
		所 在 地	うるま市勝連平敷屋3650-1																																		

(改修前)					姿 図 寸 法 S=1/50																																													
裏座1	床：厚15mm杉板フローリング張り（撤去）タタミ敷（撤去） 壁：化粧合板張り 厚9mm杉板張り 天井：厚9mm杉板張り竿縁天井（撤去） 備考：																																																	
(改修後)					姿 図 寸 法 S=1/50																																													
裏座1	床：厚15mm杉板フローリング張りカクシ塗装（新設） 壁：既存化粧合板張り撤去の上新設化粧合板張り①～② 押入・収納内部は、厚5.5mmラワン合板張り ア～⑦ 天井：厚5.5mmラワン合板下地 厚9mm化粧吸音版張り（新設 天井下地組合む） 備考：																																																	
(改修前)					姿 図 寸 法 S=1/50																																													
前 室	床：厚15mm杉板フローリング張り 勝手口50°角床磁器質タイル張り 壁：化粧合板張り 天井：厚9mm化粧吸音張り 備考：																																																	
(改修後)					姿 図 寸 法 S=1/50																																													
前 室	床：厚15mm杉板フローリング張りサンダー掛けの上ウレタン塗装 勝手口50°角床磁器質タイル張り（現況のまま） 壁：化粧合板張り（現況のまま） 天井：厚9mm化粧吸音張り（現況のまま） 備考：																																																	
<table><tr><td>工 事 名 称</td><td colspan="3">平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工 事 年 度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工 事 場 所</td><td colspan="3">沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地</td><td>図 面 名 称</td><td>展開図-5</td></tr><tr><td>発 注 機 関</td><td colspan="3">渡嘉敷村</td><td>縮 尺</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td></tr><tr><td>摘 要</td><td colspan="3"></td><td>図 面 番 号</td><td>A-16</td></tr><tr><td rowspan="4">検 印</td><td>官理建築士</td><td>設 計</td><td>製 図</td><td rowspan="4">設 計 者</td><td>名 称</td><td>翔建築設計事務所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>資格者氏名</td><td>1級建築士 第218620号 勝達 安子</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>登録番号</td><td>1級建築士事務所登録 第109-3621号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>所 在 地</td><td>うるま市勝達平敷屋3650-1</td></tr></table>					工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度	工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	展開図-5	発 注 機 関	渡嘉敷村			縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	摘 要				図 面 番 号	A-16	検 印	官理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	翔建築設計事務所				資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子				登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号				所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度																																													
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	展開図-5																																													
発 注 機 関	渡嘉敷村			縮 尺	A1:1/50 A3:1/100																																													
摘 要				図 面 番 号	A-16																																													
検 印	官理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	翔建築設計事務所																																												
					資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子																																												
					登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号																																												
					所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1																																												

(改修前)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
洋 室	床：厚15mm杉板フローリング張り 出入口500角床磁器質タイル張り 壁：化粧合板張り 天井：厚9mm化粧吸音張り一部(撤去) 備考：																																																
(改修後)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
洋 室	床：厚15mm杉板フローリング張りサンダー掛けの上の塗装仕上げ 勝手口500角床磁器質タイル張り(現況のまま) 壁：化粧合板張り(現況のまま) 天井：厚9mm化粧吸音張り(現況のまま)一部 新設 厚9mm化粧吸音張り 備考：																																																
(改修前)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
シャワー室 トイレ	床：厚15mm杉板フローリング張り 勝手口500角床磁器質タイル張り 壁：腰上：モルタル塗りの上EP塗り 腰下：108角陶器質壁タイル張り 天井：フックアップボード下地EP塗り 備考：																																																
(改修後)																																																	
姿 図																																																	
寸 法	S=1/50																																																
シャワー室 トイレ	床：勝手口500角床磁器質タイル張り(現況のまま) 壁：腰上：モルタル塗りの上EP塗り(現況のまま) 腰下：108角陶器質壁タイル張り(現況のまま) 天井：フックアップボード下地EP塗り(現況のまま) 備考：																																																
	<table><tr><td>工 事 名 称</td><td>平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工 事 年 度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工 事 場 所</td><td>沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地</td><td>図 面 名 称</td><td>展開図-6</td></tr><tr><td>発 注 機 関</td><td>渡嘉敷村</td><td>縮 尺</td><td>A1:1/50 A3:1/100</td></tr><tr><td>摘 要</td><td></td><td>図 面 番 号</td><td>A-17</td></tr><tr><td rowspan="4">検 印</td><td>官理建築士</td><td>設 計</td><td>製 図</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>設 名 称</td><td>翔建築設計事務所</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>資格者氏名</td><td>1級建築士 第218620号 勝達 安子</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>登録番号</td><td>1級建築士事務所登録 第109-3621号</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>所 在 地</td><td>うるま市勝達平敷屋3650-1</td></tr></table>				工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度	工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-6	発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100	摘 要		図 面 番 号	A-17	検 印	官理建築士	設 計	製 図												設 名 称	翔建築設計事務所			資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子			登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号			所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度																																														
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	展開図-6																																														
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100																																														
摘 要		図 面 番 号	A-17																																														
検 印	官理建築士	設 計	製 図																																														
		設 名 称	翔建築設計事務所																																														
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子																																														
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号																																														
		所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1																																														

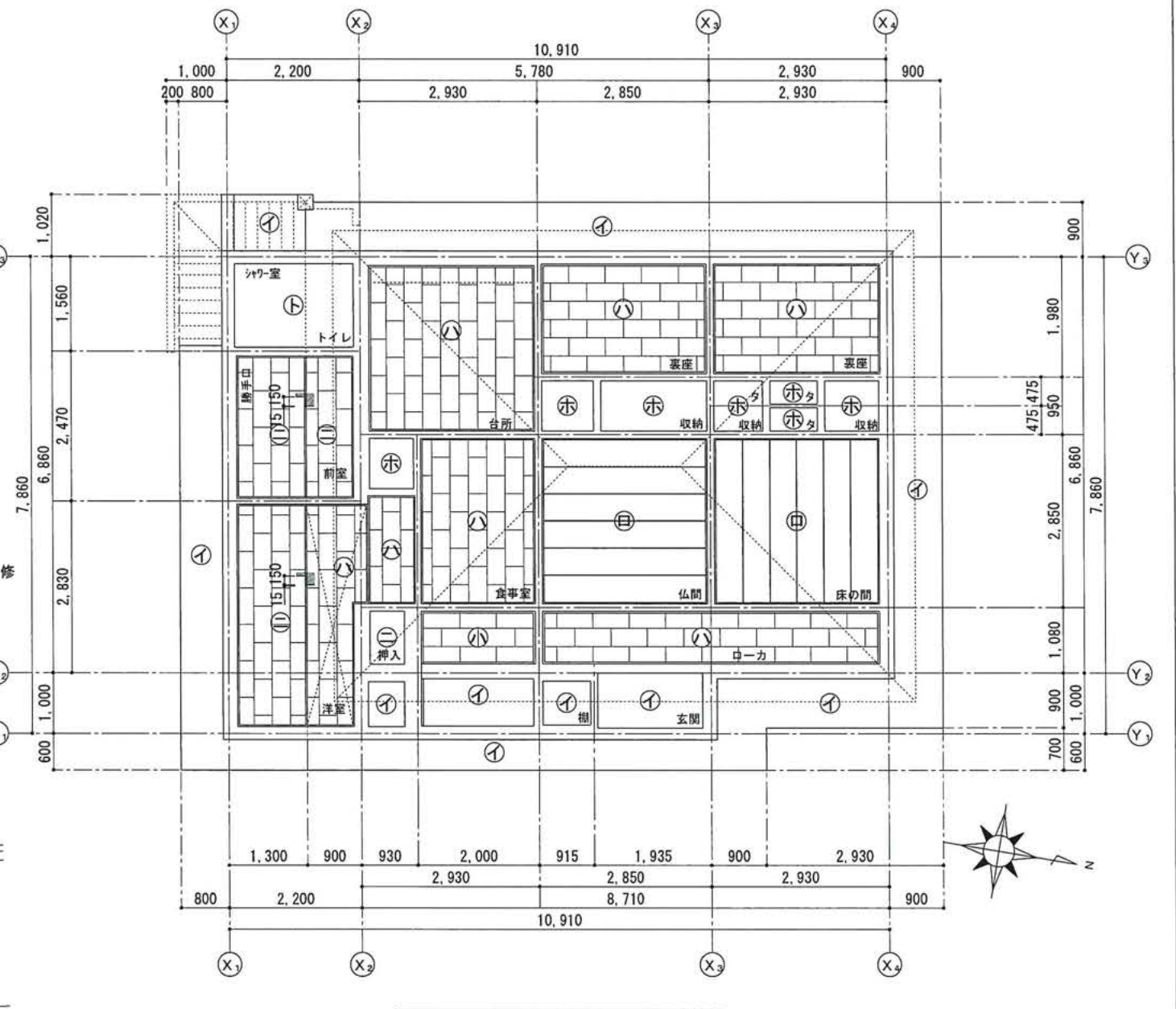
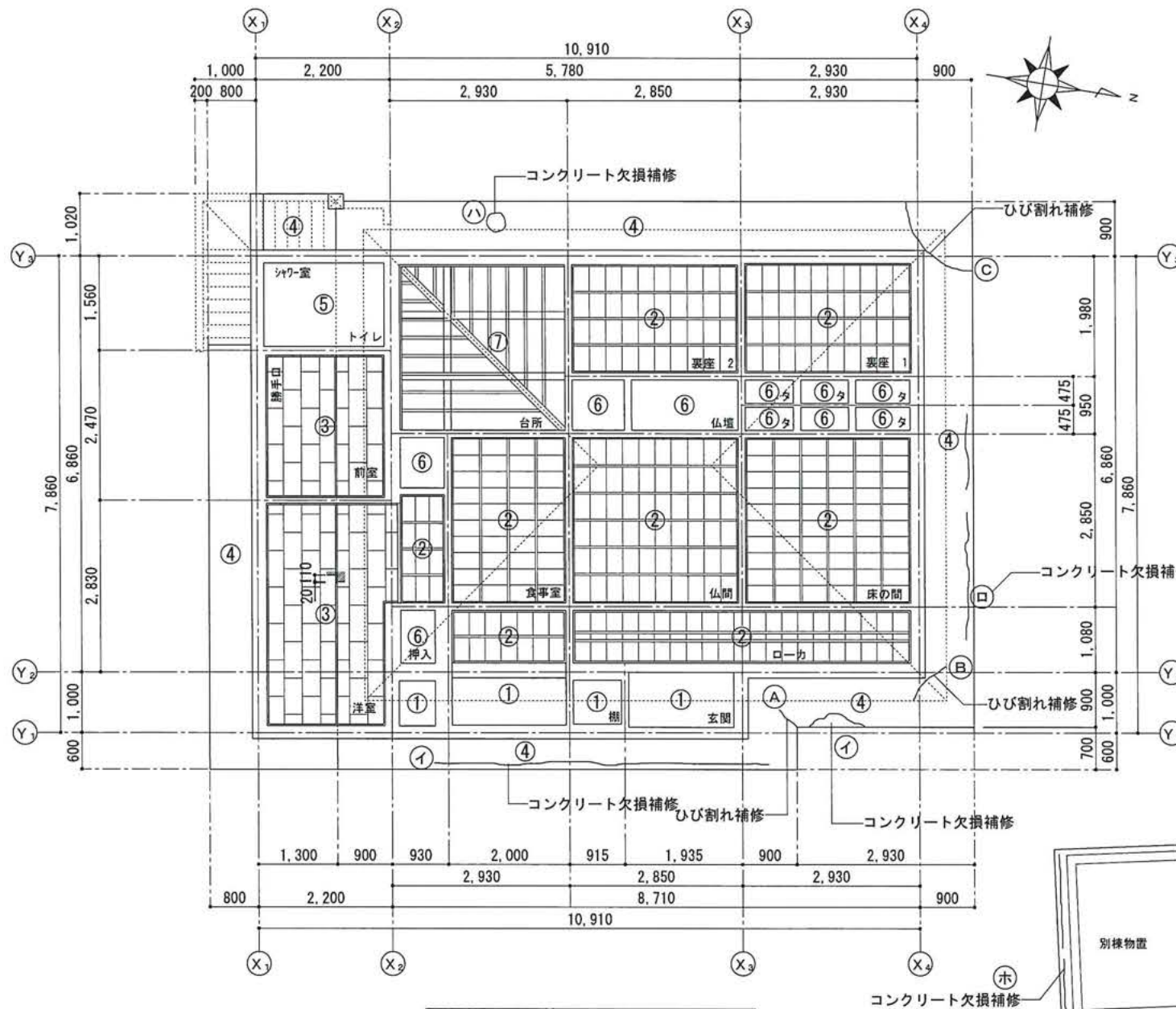
改修前

符 号	仕 上
①	コンクリート打放し補修素仕上げ
②	杉板張り竿縁天井（竿縁：杉 35×25）
③	厚：5.5耐水合板下地 厚：9mm吸音板張り
④	コンクリート打ち放し補修の上塗装仕上げ
⑤	フレキシブルボード張りの上E P-G
⑥	杉板張り
⑦	仕上げ材無（小屋組みむき出し）

改修後

符 号	仕 上
㊦	コンクリート打放し面洗浄の上塗装仕上げ（改修）
㊧	和風天井張り（新設）
㊨	厚5.5mm耐水合板下地 厚：9mm吸音板張り（新設）
㊩	厚：5.5耐水合板下地 厚：9mm吸音板張り（既存のまま）
㊪	厚：5.5mm耐水合板張り（新設）
㊫	コンクリート打ち放し補修の上塗装仕上げ（既存のまま）
㊬	フレキシブルボード張りの上E P-G（既存のまま）

※新設天井は、全て天井下地組を含め新設とする。



天 井 伏 図	A 1 : S=1/50
	A 3 : S=1/100

天 井 伏 図	A 1 : S=1/50
	A 3 : S=1/100

ひび割れ補修（Uカットシール材充填工法）			
番号	幅：W	長さ：L	備 考
㊦	0.45	500	
㊧	0.5	900	
㊨	0.8	1,750	

欠損部補修（ポリマーセメントモルタル充填工法・エポキシ樹脂モルタル充填工法）			
番号	幅：W	長さ：L	備 考
㊦	200	5,600	コンクリート浮き撤去の上ポリマーセメントモルタル塗り
㊧	200	1,800	コンクリート浮き撤去の上ポリマーセメントモルタル塗り
㊨	200	900	コンクリートハクリ鉄筋露出・防錆処理の上ポリマーセメントモルタル塗り
㊩	t=150	Φ250	スラブ貫通孔Φ200 エポキシ樹脂モルタル充填
㊪	200	2,900	コンクリートハクリ鉄筋露出・防錆処理の上ポリマーセメントモルタル塗り

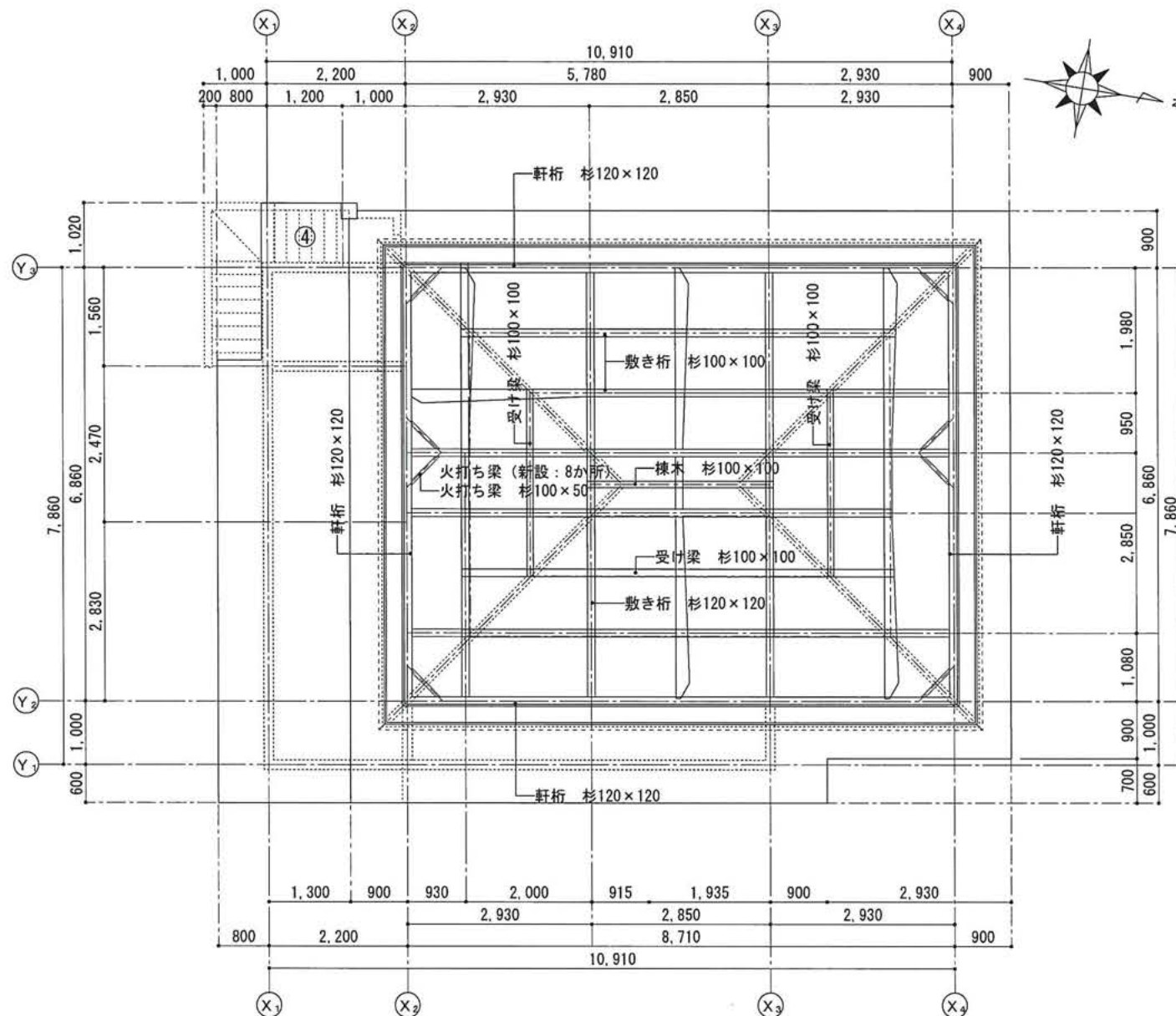
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	天井伏図
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A 1 : 1 / 5 0 A 3 : 1 / 1 0 0
摘 要		図 面 番 号	A - 1 8
検 印	官理建築士	設 計	設 名 称 翔建築設計事務所
			資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝連 安子
			登 録 番 号 1級建築士事務所登録 第109-3621号
			所 在 地 うるま市勝連平敷屋3650-1

改修前

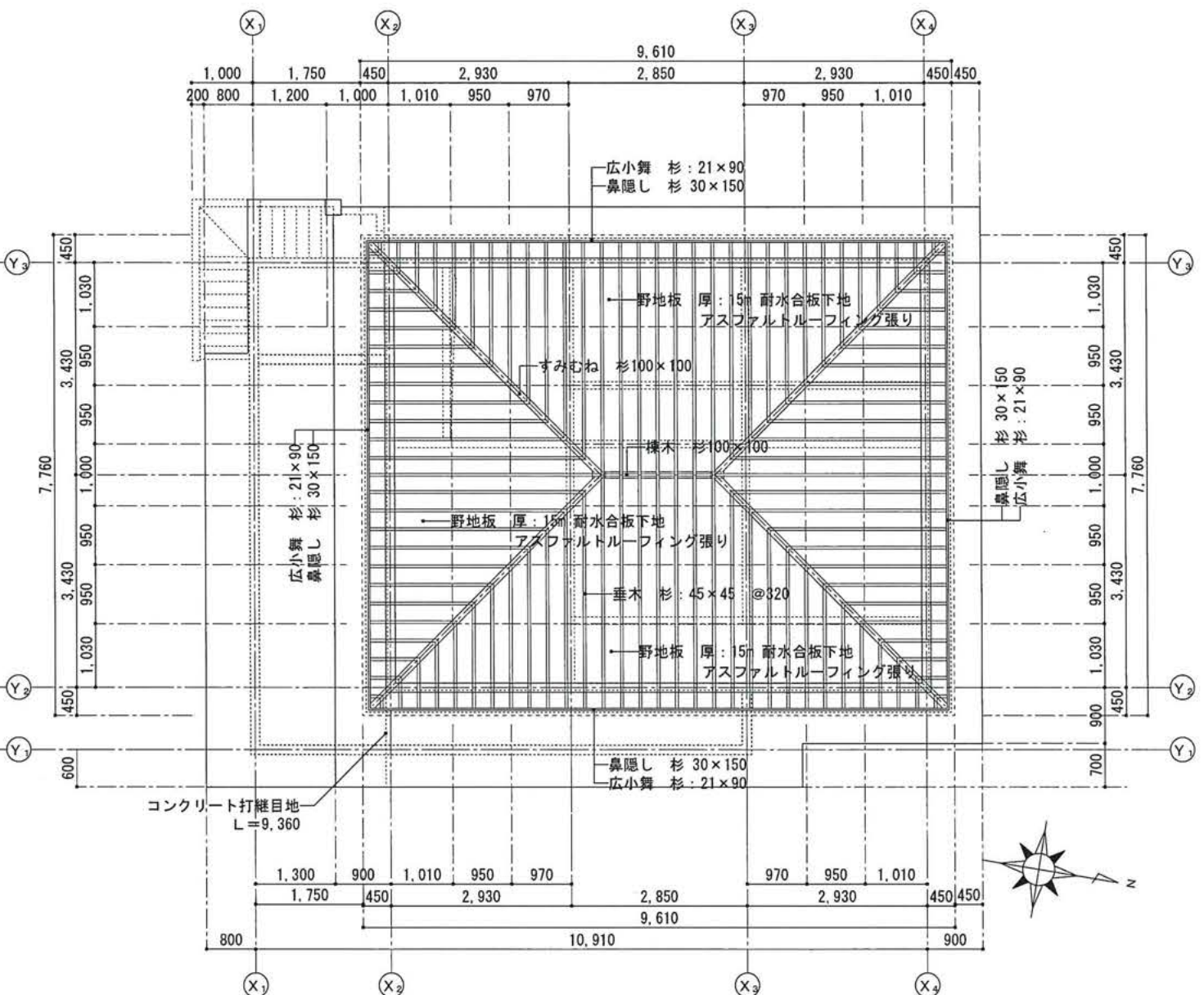
部 位	仕 上
瓦屋根	琉球赤瓦漆喰塗り (撤去)
野地板	竹木舞下地敷の上 赤土盛土 (撤去)
垂 木	杉 : 45×45 @300 (撤去)
母 屋	杉 : 100×100 @950
棟 木	杉 : 100×100 @950
敷 桁	杉 : 100×100 @950

改修後

部 位	仕 上
瓦屋根	S型瓦葺き 瓦棧 : 21×33 (新設)
野地板	厚 : 15mm耐水合板下地改質アスファルトルーフィングステープル留め (22kg/厚さ : 1.3mm)
垂 木	杉 : 45×45 @300 (新設)
母 屋	杉 : 100×100 @950 (補修 既存のまま・腐蝕材は取り換え)
棟 木	杉 : 100×100 @950 (補修 既存のまま・腐蝕材は取り換え)
敷 桁	杉 : 100×100 @950 (補修 既存のまま・腐蝕材は取り換え)
火打ち梁	杉 : 100×50 (新設 : 8か所)



小屋伏図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



小屋伏図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

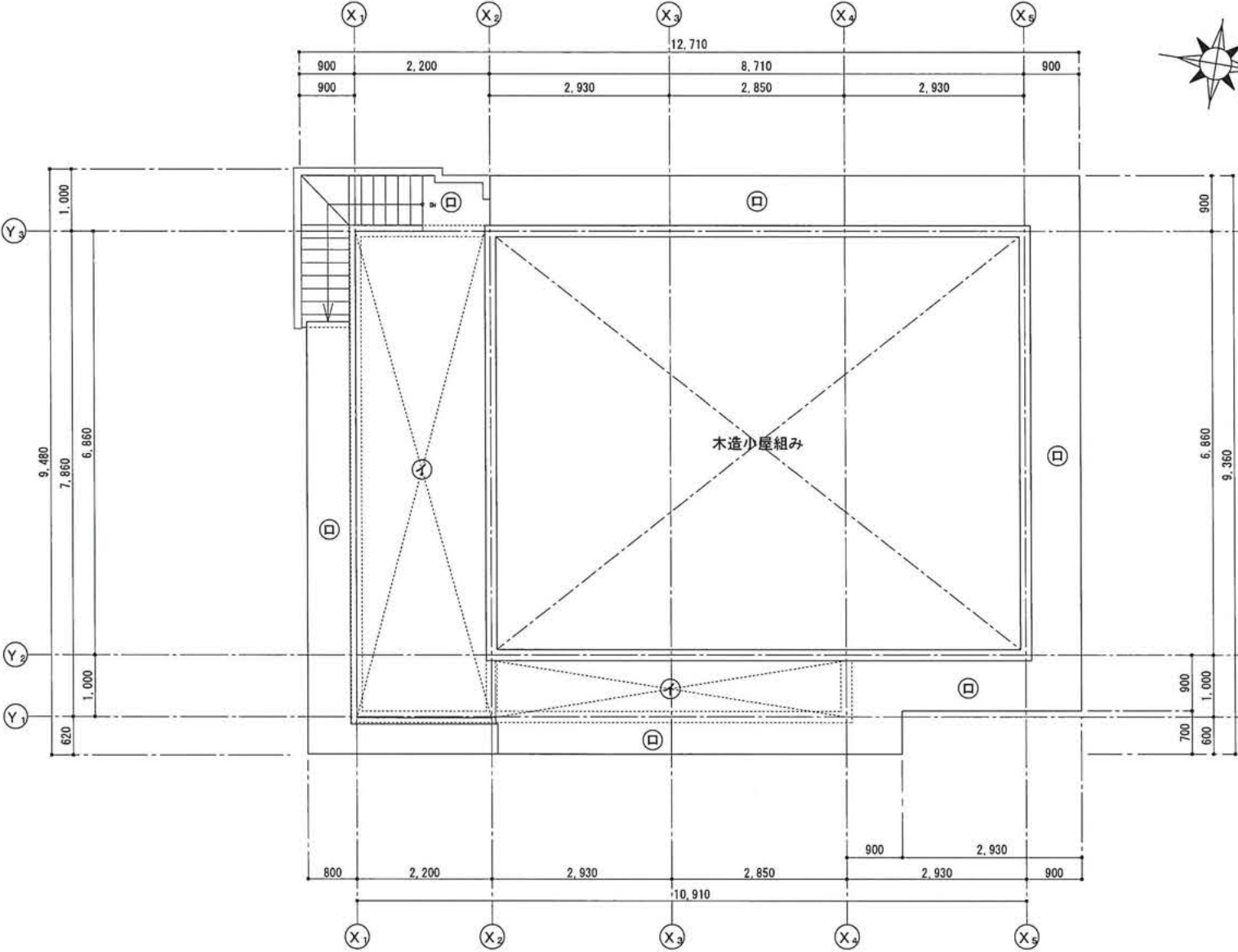
外部仕上表				
符号	位 置	改 修 前	改 修 後	備 考
イ	陸屋根	コンクリート打放し	高圧洗浄後、ウレタン塗膜防水 X-2	クラック補修
ロ	庇屋根	コンクリート打放し	高圧洗浄後、ウレタン塗膜防水 X-2	クラック補修
ハ	庇・軒裏	コンクリート打放し 合成樹脂エマルジョンペイント EP	高圧洗浄後、合成樹脂エマルジョンペイント EP-G	クラック補修

※高圧洗浄機の圧力は、15Mpa以上とする。
※既存打放し面の下地調整材は、セメント系下地調整材C-2とする。
※躯体コンクリート打継ぎ目地のシーリングは、再充填工法とする。
PU-2、ポリウレタン系シーリング材充填。

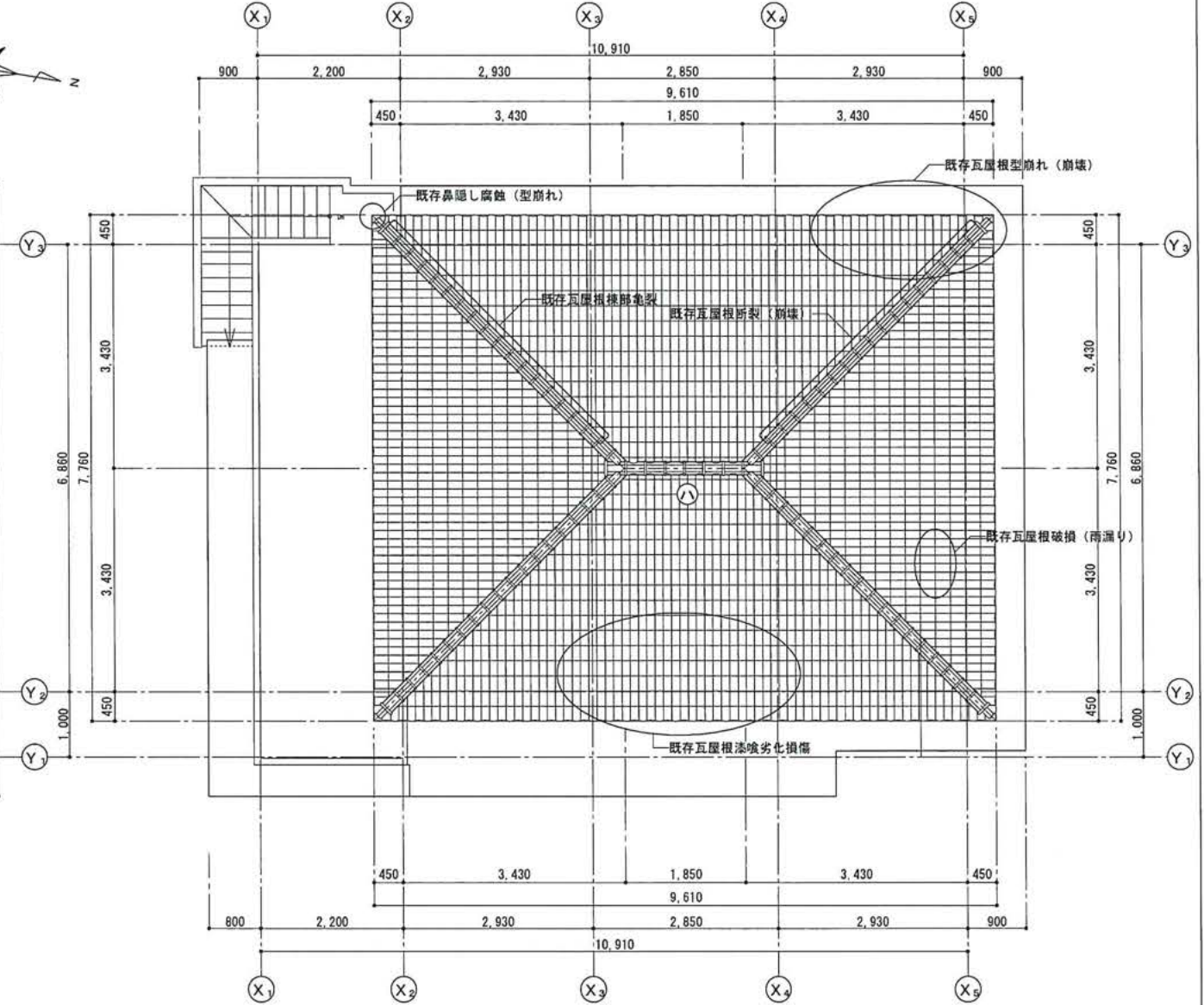
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	小屋伏図
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
摘 要		図 面 番 号	A-19
検 印	官理建築士	設 計	製 図
		設 計	名 称
		資格者氏名	翔建築設計事務所
		登録番号	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1

外部仕上表				
符号	位置	改修前	改修後	備考
㊦	陸屋根	コンクリート打放し	高圧洗浄後、ウレタン塗膜防水 X-2	クラック補修
㊦	庇	コンクリート打放し	高圧洗浄後、ウレタン塗膜防水 X-2	クラック補修
㊦	瓦屋根	琉球赤瓦漆喰塗り	S型瓦葺き 瓦棧：21×33	撤去・新設

※高圧洗浄機の圧力は、1.5Mpa以上とする。
※既存打放し面の下地調整材は、セメント系下地調整材C-2とする。
※躯体コンクリート打継ぎ目地のシーリングは、再充填工法とする。
PU-2、ポリウレタン系シーリング材充填。



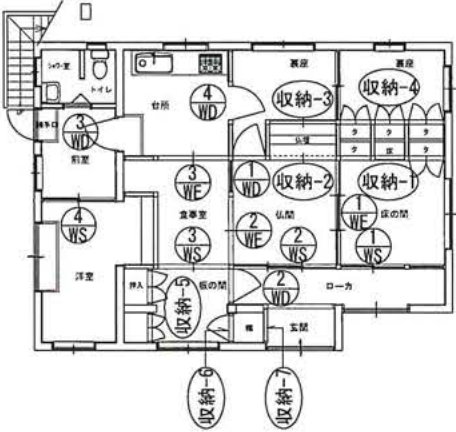
陸屋根伏図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



瓦屋根伏図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	屋根伏図
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-20
検印	官理建築士	設計	製図
		設	計
		製	図
		設	計
検印		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1

符号・箇所	①WS 床の間	1ヶ所	①WE 床の間	1ヶ所	②WS 仏間	1ヶ所	②WE 仏間	1ヶ所	①WD 仏間 (撤去)	1ヶ所	②WD ローカ (撤去)	1ヶ所
姿 図												
型式・見込	木製引違い障子戸+障子ハメコミ	30	木製3枚引違い框戸 (鏡板)	30	木製3枚引違い障子戸	30	木製引違い框戸 (鏡板) + 框戸ハメコミ	30	木製ドア框戸 (鏡板) (撤去)	30	木製ドア框戸 (鏡板) (撤去)	30
仕 上	杉CL		杉CL		杉CL		杉CL		杉CL (撤去)		杉CL (撤去)	
面	貼り障子紙 (撤去) 和紙障子紙貼り (新設)		鏡板:ア)5 シナ合板CL 両面クロス貼り (新設)		貼り障子紙 (撤去) 和紙障子紙貼り (新設)		鏡板:ア)5 シナ合板CL 両面クロス貼り (新設)		鏡板:ア)5 シナ合板CL (撤去)		鏡板:ア)5 シナ合板CL (撤去)	
ガラス	—		—		—		—		—		—	
金 物	—		—		—		—		—		—	
備 考	敷居すべり (新設)		敷居すべり (新設)		敷居すべり (新設)		敷居すべり (新設)					
符号・箇所	③WD 前室 (新設)	1ヶ所	④WD 台所 (新設)	1ヶ所	③WS 板の間 (撤去)	1ヶ所	④WS 洋室	1ヶ所	③WE 食事室 (撤去)	1ヶ所		
姿 図												
型式・見込	木製フラッシュ7 明り窓付	36	木製フラッシュ7 明り窓付	36	木製3枚引違い障子戸 (撤去)	30	木製引違い障子戸 腰:シナ合板張り	30	木製引違い框戸 (鏡板) (撤去)	30		70
仕 上	両面4mm化粧合板張り		両面4mm化粧合板張り		杉CL		杉CL		杉CL (撤去)			
ガラス	4mmカラーガラス		4mmカラーガラス		貼り障子紙 (撤去)		貼り障子紙 (撤去) 和紙障子紙貼り (新設)		鏡板:ア)5 シナ合板CL (撤去)			
金 物	儀星丁番 レバーハンドル (非常開閉装置付)		儀星丁番 レバーハンドル (非常開閉装置付)		—		—		—			
備 考	戸当り		戸当り				敷居すべり (新設)					
符号・箇所												
姿 図												
型式・見込												
仕 上												
ガラス												
金 物												
備 考												



建具 KEYPLAN S=1/100

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	木製建具表1
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-21
検印	官理建築士	設計	製図
		名称	翔建築設計事務所
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝達平敷屋3650-1

符号・箇所	(収納-1) 床の間 (現況)	1ヶ所	(収納-1) 床の間 (改修後)	1ヶ所	(収納-2) 仏間 (現況)	1ヶ所	(収納-2) 仏間 (改修後)	1ヶ所	(収納-3) 裏座 1 (現況)	1ヶ所	(収納-3) 裏座 1 (改修後)	1ヶ所
姿 図												
型式・見込	ア) 24木製両開き戸 (現況)		ア) 24木製両開き戸 (新設)		ア) 24木製4枚引違格子戸		ア) 24木製2枚引違い框戸 (新設)		ア) 24木製4枚引違格子戸		ア) 24木製2枚引違い框戸 (撤去)	
仕 上	南桧 CL		南桧 CL 米ヒバ CL (新設)		南桧 CL		南桧 CL 米ヒバ (新設)		南桧 CL		南桧 CL	
面	しな合板張り		しな合板張り しな合板張り CL (新設)		杉板張り		しな合板張り CL しな合板張り CL (新設)		杉板張り		しな合板張り CL	
ガラス	—		—		—		—		—		—	
金 物	丁番 ・ 取っ手		丁番 ・ 取っ手 (新設)		—		船底引手 (新設)		—		—	
備 考												
符号・箇所	(収納-4) 裏座 2 (現況)	1ヶ所	(収納-4) 裏座 2 (改修後)	1ヶ所	(収納-5) 板の間 (現況)	1ヶ所	(収納-5) 板の間 (改修後)	1ヶ所	(収納-6) 板の間 (現況)	1ヶ所	(収納-6) 板の間 (改修後)	1ヶ所
姿 図												
型式・見込	ア) 24木製両開き戸 (現況)		ア) 24木製両開き戸 (新設)		ア) 24木製2枚引違い框戸 (撤去)		ア) 24木製両開き框戸 (新設)		ア) 24木製両開き戸 建具撤去		ア) 24木製両開き戸 (新設)	
仕 上	南桧 CL		南桧 CL 米ヒバ (新設)		南桧 CL		米ヒバ CL (新設)		南桧 CL 建具撤去		米ヒバ CL (新設)	
面	しな合板張り		しな合板張り しな合板張り CL (新設)		しな合板張り CL		しな合板張り CL (新設)		しな合板張り 建具撤去		しな合板張り CL (新設)	
ガラス	—		—		—		—		—		—	
金 物	丁番 ・ 取っ手		丁番 ・ 取っ手 (新設)		—		丁番 ・ 取っ手 (新設)		丁番 ・ 取っ手 建具撤去		丁番 ・ 取っ手 (新設)	
備 考												
符号・箇所	(収納-7) 玄関 (現況)	1ヶ所	(収納-7) 玄関 (改修後)	1ヶ所								
姿 図												
型式・見込	ア) 24木製2枚引違い框戸 (撤去)		ア) 28木製2枚引違いガラリ戸 (新設)									
仕 上	南桧 CL		米ヒバ CL (新設)									
面	しな合板張り CL		米ヒバ CL (新設)									
ガラス	—		—									
金 物	—		—									
備 考												

建具 KEYPLAN S=1/100

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	木製建具表2
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	A-22
検印	官理建築士	設計	翔建築設計事務所
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝達平敷屋3650-1

符号・箇所	① AE	玄関	1ヶ所	② AE	ローカ	1ヶ所	③ AE	洋室	1ヶ所	① AW	洋室	1ヶ所	② AW	食事室	1ヶ所	③ AW	床の間	1ヶ所
姿 図																		
型 式 ・ 見 込	欄間付アルミ引違い戸・アルミ雨戸			縦格子アルミ引違い戸・アルミ雨戸			欄間付アルミ引違い戸・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ雨戸		
仕 上	カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ		
ガ ラ ス	腰上：厚6.8mm 網入り型板ガラス 腰下：アルミパネル			腰上：厚6.8mm 網入りフロートガラス 腰下：厚6.8mm 網入り型板ガラス			腰上：厚6mm 型板ガラス 腰下：アルミパネル			厚6mm 型板ガラス			腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6mm 型板ガラス			腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6.8mm 網入り型板ガラス		
金 物	クレセント ※既設撤去の上アルミ引違い戸新設			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）		
備 考	※可動式網戸（新設）			※可動式網戸（網張り替）			※可動式網戸（網張り替）			※可動式網戸（既存のまま）			※可動式網戸（既存のまま）			※可動式網戸（網張り替）		
符号・箇所	④ AW	裏座 1	1ヶ所	⑤ AW	裏座 1	1ヶ所	⑥ AW	裏座 6	1ヶ所	⑦ AW	台所	1ヶ所	⑧ AW	トイレ	1ヶ所	⑨ AW	シャワー室	1ヶ所
姿 図																		
型 式 ・ 見 込	アルミ引違い窓・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ雨戸			アルミ引違い窓・アルミ格子			アルミすべり出し窓			アルミ引違い窓		
仕 上	カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ		
ガ ラ ス	腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6.8mm 網入り型板ガラス			腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6.8mm 網入り型板ガラス			腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6.8mm 網入り型板ガラス			腰上：厚5mm フロートガラス 腰下：厚6.8mm網入り型板ガラス（ガラス撤去・新設）			厚6mm 型板ガラス			厚6mm 型板ガラス		
金 物	クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			クレセント ※建付け調整（付属金物取替）		
備 考	※可動式網戸（既存のまま）			※可動式網戸（既存のまま）			※可動式網戸（既存のまま）			※可動式網戸（既存のまま）			※丁番式網戸（新設）			※可動式網戸（新設）		
符号・箇所	⑩ AW	前室	1ヶ所	① AD	前室	1ヶ所	② AD	前室	1ヶ所	<div>建 具 KEYPLAN S=1/100</div>								
姿 図																		
型 式 ・ 見 込	アルミ引違い窓・アルミ雨戸			鋼製片開戸（撤去） アルミフラッシュ戸（新設）			アルミ中折れ戸											
仕 上	カラーサッシ			カラーサッシ			カラーサッシ											
ガ ラ ス	厚6mm 型板ガラス						樹脂パネル											
金 物	クレセント ※建付け調整（付属金物取替）			鎌錠・丁番・ドアクローザー・レバーハンドル ※既設撤去の上アルミ片開戸新設			既存のまま											
備 考	※可動式網戸（既存のまま）			※網戸新設														

※ 特 記 事 項

- 金属製建具の図示寸法は、建具枠内法寸法とする。
- 建付け調整は現況確認の上、不具合金物等補修内容の施工図又は、内容報告書を作成し係員の承諾を得る。
- 建具の色あせキズやサビ、塗膜が剥がれている場合は、塗装補修を行う。
- その他不明の点は、係員の指示によるものとする。

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	金属製建具表
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
摘 要	図面番号 A-23		
検 印	官理建築士	設 計	製 図
設 計 者	翔建築設計事務所		
資 格 者 氏 名	1級建築士 第218620号 勝連 安子		
登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号		
所 在 地	うるま市勝連平敷屋3650-1		

平成28年版 建築工事特記仕様書【電気設備工事編】

制定 平成28年6月30日
最終改定 平成30年1月15日

1 工事概要

- (1) 工 事 名 : 平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業
(2) 工事場所 : 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地
(3) 建物概要

建築物の名称	構造及び階数	延べ面積 (㎡)	用途区分
			消防法施行令別表第一
一戸建て住宅	CB造木造小屋赤瓦屋根	82.82㎡	
計			

(注:延べ面積は建築基準法による表記)

(4) 工事科目 (○印を付けたものを適用する)

工事科目	建物別及び屋外			
	屋内			屋外
電灯設備	○			
動力設備				
電熱設備				
雷保護設備				
受変電設備				
電力貯蔵設備				
発電設備				
構内情報通信網設備				
構内交換設備				
情報表示設備				
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導支援設備				
テレビ共同受信設備				
監視カメラ設備				
駐車場管制設備				
防犯・入退室管理設備				
火災報知設備				
中央監視制御設備				
構内配電線路				
構内通信線路				
テレビ電波障害防除設備				
発生材処理				
撤去工事	○			
軽微な機械設備工事				
軽微な建築工事				

2 本工事の設計時期

本工事の設計書は、平成31年2月時点での沖縄県土木建築部建築工事積算基準及び平成31年1月の公共工事設計労務単価等に基づいて作成している。

3 電気設備工事仕様

(1) 標準仕様書等

- ア 図面及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、すべて官庁営繕関係統一基準の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（平成28年版）（以下「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」（平成28年版）（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」（平成28年版）（以下「標準図」という。）による。
イ 本工事に建築工事を含む場合、建築工事は「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（平成28年版）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（平成28年版）による。

(2) 特記仕様

- ア 項目の番号に○印が付いた特記事項を適用する。
イ 特記事項のうち選択する事項は「・」又は「※」に○印が付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は「※」を適用する。「・」と「※」の両方に○印がある場合は、ともに適用する。
ウ 項目に記載の（ ． ． ）内の表示番号は標準仕様書の当該項目を参考まで示している。

4 その他

(1) 公共事業労務費調査に対する協力

- ア 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、調査票等に必要事項を正確に記入し提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の完成後においても同様とする。

イ 調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の完成後においても同様とする。

ウ 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。

エ 本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む。）がアからウまでと同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(2) 本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合の取扱いについて

本工事の請負代金額の変更協議をする場合及び本工事と関連する工事を本工事受注者と随意契約する場合にあたって、変更協議または関連する工事の予定価格の算定は、本工事の請負比率（元契約額÷元設計額）を変更設計額または関連工事の設計額に乗じた額で行う。

(3) 県産資材の優先使用

本工事に使用する資材等のうち、沖縄県内で生産、製造され、かつ、規格、品質、価格等が適正である場合はこれを優先して使用するよう努めなければならない。なお、主要建設資材の使用状況を「県産建設資材使用状況報告書」にて報告すること。

(4) 下請業者の県内企業優先活用

受注者は、下請契約の相手方を県内企業（主たる営業所を沖縄県内に有する者。）から選定するように努めなければならない。

(5) 不発弾等発見時の処理について

本工事において、不発弾等が発見された場合には、警察署（交番、駐在所）に報告すると共に、監督員を通して関連市町村（防災主管課）、沖縄県知事公室防災危機管理課及び沖縄県土木建築部技術・建設業課に報告すること。また、発見された不発弾等については、警察署または自衛隊より指示等があるまでは、触れずにそのままの状態で保存すること。

なお、これについては、下請業者へも周知すること。

(6) ダンプトラック等による過積載等の防止について

ア 工所用資機材等の積載超過のないようにするとともに交通安全管理を十分に行うこと。

イ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

ウ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することのないようにすること。

エ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることのないようにすること。

オ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

カ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

キ アからカのことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

(7) 不正軽油の使用の禁止等について

ア 受注者は、工事の施工に当たり、工事現場で使用し、若しくは使用させる車両（資機材等の搬入車両を含む。）又は建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32の規定に違反する燃料をいう。）を使用し、又は使用させてはならない。

イ 受注者は、県の税務当局が実施する使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

(8) 設計図書における資材等の取扱いについて

ア 本工事の設計図書及び参考図に示す資材等については、特定企業の製品又は工法を指定するものではない。

イ 本工事で使用する資材等については、設計図書及び参考図のとりの品質規格・仕様等で積算しており、その品質規格・仕様等と同等級以上の資材を使用すること。なお、使用にあたっては監督職員の承諾を得るものとする。

ウ 「参考図」は建設工事請負契約約款第1条に定める設計図書ではなく、発注者の積算の透明性を確保し入札者の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に「参考資料」として提示するものである。

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	特記仕様書（電気）その1
発 注 機 関	渡嘉敷村			縮 尺	A1:N/O A3:N/O
摘 要				図 面 番 号	E-01
換 印	官理建築士	設 計	製 図	設 名 称	翔建築設計事務所
				資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
				登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
				所 在 地	うるま市勝達平敷屋3650-1

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業			工 事 年 度	平成30年度	
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地			図 面 名 称	特記仕様書（電気）その2	
免 注 機 関	渡嘉敷村			縮 尺	A1:N/0 A3:N/0	
摘 要				図面番号	E - 02	
検 印	官理建築士	設 計	製 図	設 計 者	名 称	翔建築設計事務所
					資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝達 安子
					登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
					所在地	うるま市勝達平敷屋3650-1

[illegible]別表-1 (関連工事との取り扱い)




工事内容		別工事		
		電気	機械	建築
機器の基礎	屋内設置（架台、アンカーボルトを除く）	・		※
	屋上設置（架台、アンカーボルトを除く）	・		※
	屋外設置（架台、アンカーボルトを除く）	※		・
	架台、アンカーボルト	※		・
貫通スリーブ （はり、床、壁）	スリーブ	※		・
	補強鉄筋	・		※
	スリーブの穴埋め	※		・
箱入れ （はり、床、壁）	箱入れ	※		・
	補強鉄筋	・		※
	型枠の穴埋め	※		・
天井、壁の切り込み	墨出し	※		・
	下地組み、ボード類切り込み （埋込照明器具、スピーカー等）	・		※
開口部補強	軽量鉄骨天井、壁下地	・		※
インサート	インサート	※		・
換気扇の取付枠	換気扇の取付枠	・	※	
電気配管配線	機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線	・	※	
	機器付属の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線	※	・	
	天井吊り機器（空調機、空調換気扇）の本体と操作スイッチ間の配管	※	・	
	上記の配線	・	※	
	パッケージ型空気調和機などで屋内機と屋外機との間の配管	※	・	
	上記の配線	・	※	
	電極棒及びフロートスイッチの本体	・	※	
	上記の配管、配線	※	・	
	電気配管	・	・	
自動制御	電気配線	・	・	
	電源供給	※	・	
浄化槽	操作盤までの１次側電気工事	※	・	
	操作盤以降の２次側電気工事	・	※	
建具類駆動装置	建具類電動駆動装置の２次配線及び操作スイッチ	・		※
	上記の配管	※		・
自動閉鎖装置	自動閉鎖装置取り付け箇所の切り込み及び補強	・		※
	上記の配管、配線	※		・

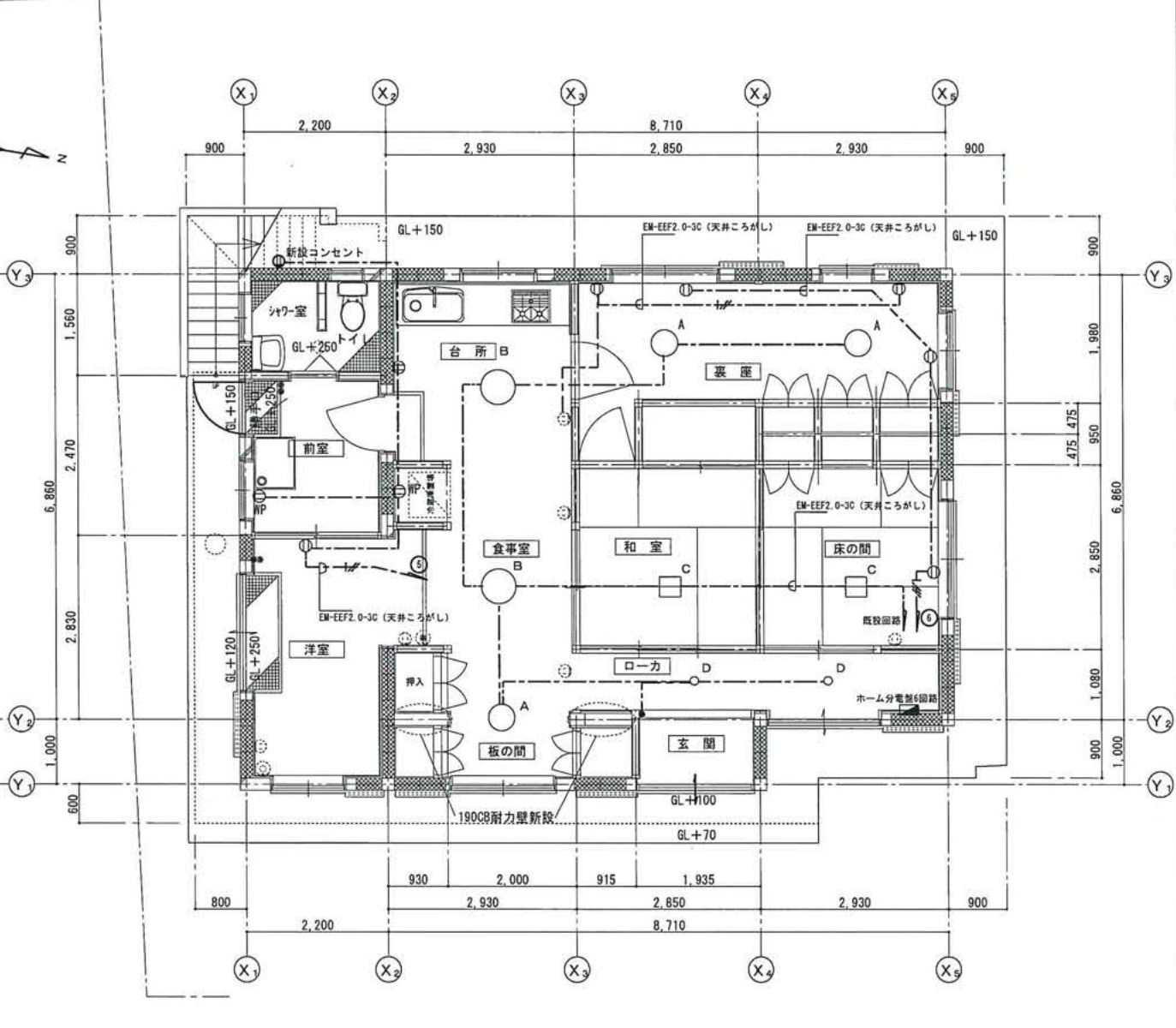
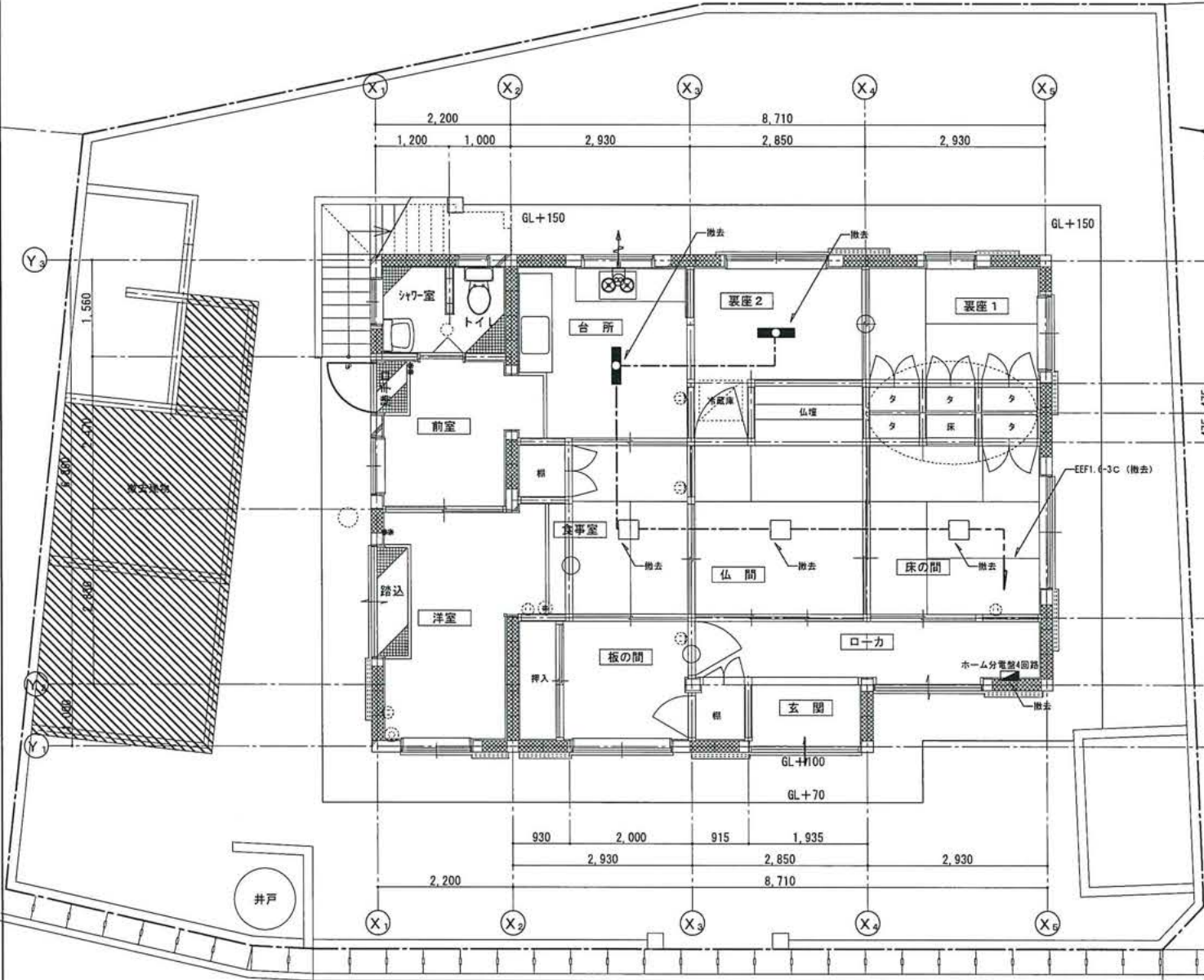
※配線は接続を含むものとする。

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	特記仕様書(電気)その3
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:N/O A3:N/O
摘要		図面番号	E-03
検印	官理建築士	設計	製図
		設計者	名称
			資格者氏名
			登録番号
			所在地

改修前

改修後

A	LEDシーリングライト	B	LEDシーリングライト	C	LEDシーリングライト	D	LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当
							
型式 (φ500K)・R=83mm電球色 (2700K)・R=83 器具消費電力 8.9W (1m)・消費電力 2.8W・電圧 100V 照明器具用、ソケット用方式、カセット 半導体発光ダイオード(LED) カバー・アクリル (乳白透明・遮熱入り) リモコンで (100%~5%) 調光				型式 (φ500K)・R=83mm電球色 (2700K)・R=83 器具消費電力 8.9W (1m)・消費電力 2.8W・電圧 100V 照明器具用、ソケット用方式、カセット 半導体発光ダイオード(LED) カバー・アクリル (乳白透明・遮熱入り) リモコンで (100%~5%) 調光		電球色 (5000K)・黒黒色 R=85 器具消費電力 7.8W (1m)・消費電力 1.0W・電圧 100V 筒型、筒型タイプ、器具消費電力 0.8W、器具消費電力 約 1.5W (100%~5%) 調光 電圧 100V・電圧 80	
LGBZ0528K (参考品番)				LGBZ0800K (参考品番)		LGB74310LE1 (参考品番)	



現況平面図 A1: S=1/50
A3: S=1/100

改修後平面図 A1: S=1/50
A3: S=1/100

凡例
特記なき配線は次のとおりとする。

- EM-EF2.0-3C (ころがし)
- EM-EF1.6-3C (ころがし)
- EM-EF1.6-2C (ころがし)

● タンブラスイッチ 1P15A×1
■ 電灯器具
□ 深キワード (機械設備工事)

工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	電気設備 改修前・改修後平面図
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	E-04
検印	官理建築士	設計	製図
		設計	名称
			資格者氏名
			登録番号
			所在地

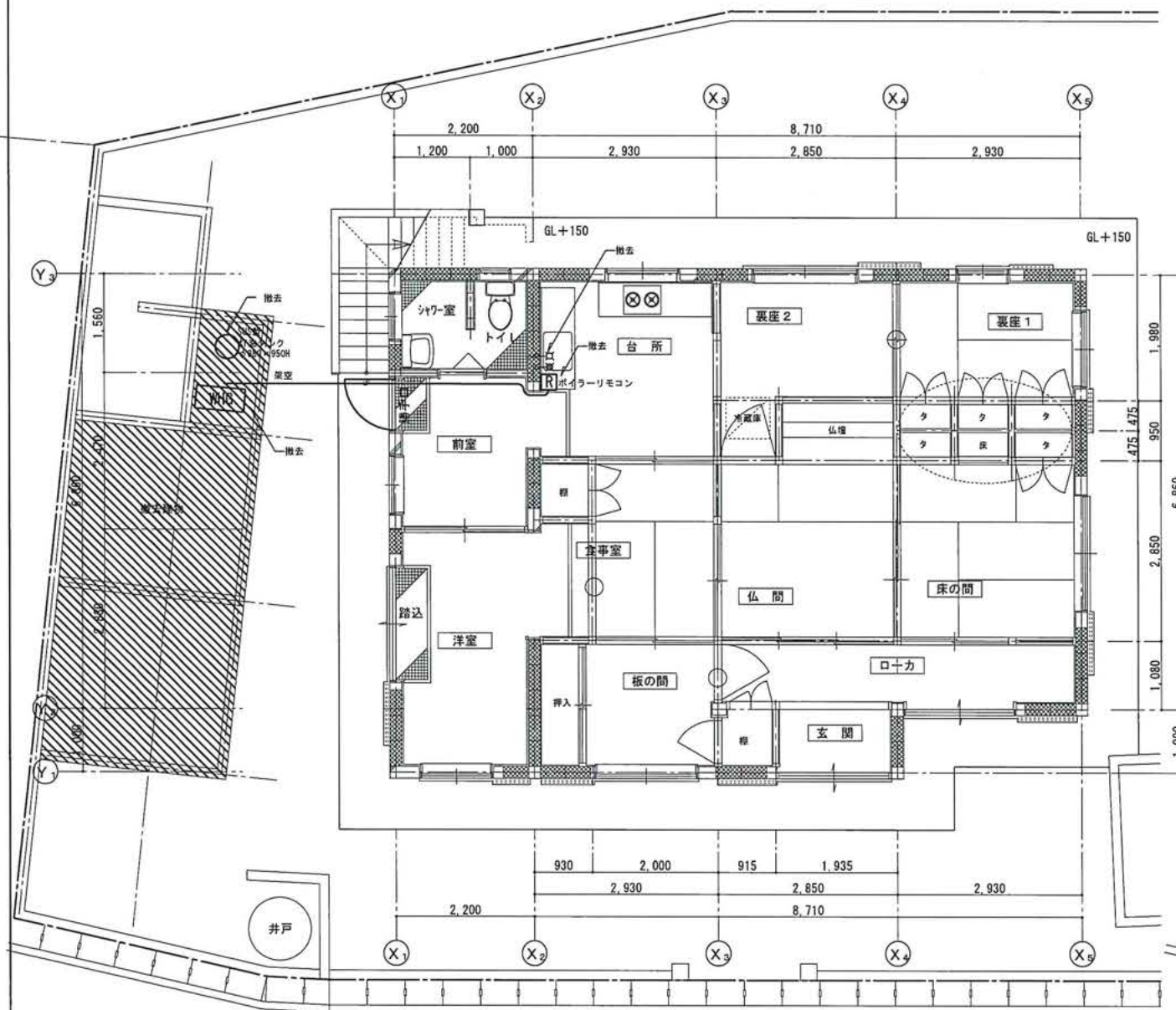
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																	
	※	○ 9 施工管理体制 (1.3.1)	(1) 工事請負代金額が3,500万円以上（建築一式工事の場合7,000万円以上）の工事については、主任技術者又は監理技術者を現場ごとに専任で配置する。なお、専任を要しない期間は、次のとおりとする。 ア 現場施工に着手するまでの期間 ・請負契約の締結の日の翌日から平成 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 ※請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打合せにおいて定める。 イ 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く）、事務手続、後片付け等のみが残っている契約校期中の期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。 (2) 主任技術者及び監理技術者の雇用関係について ア 建設業法第26条の規定により、工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者は、受注者と入札執行日より前に3か月以上の雇用関係が成立していなければならない。 イ 受注者は、着手届と共に工事現場に専任で配置する主任技術者又は監理技術者の雇用関係を証明する書類（健康保険被保険者証等の写し）を提出しなければならない。 (1) 主任技術者及び監理技術者の資格については、入札公告、現場説明資料等による。なお、入札公告、現場説明資料等で示されていない場合、主任技術者の資格は、以下による。 ※資格の区分1 次のイ又はロに掲げるもの イ 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち、1級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 ロ 技術士法（昭和58年法律第25号）による第二次試験のうち、技術部門を機械部門、上下水道部門又は衛生工学部門に合格した者 ・資格の区分2 次のイ又はロに掲げるもの イ 技術検定のうち、1級又は2級の管工事施工管理の検定種目に合格した者 ロ 資格の区分1のロに掲げる者 ・資格の区分3 次のイ又はロに掲げるもの イ 建設業法第7条第2号イ又はロに定める実務経験を有する者 ロ 昭和47年建設省告示第352号により、上記と同等以上の知識及び技術、技能を有すると認定された者 (2) 発注者へ資格を証明する資料を提出すること。 電気工作物に係る工事を行う場合は、その工事期間において監督員の承諾を受けた電気保安技術者を配置し、電気工作物の保安業務を行うこと。 施工条件は、図示及び以下による。 () 国道6路線及び県道7路線における警備業者が交通誘導警備業務を行う場合は、一級又は二級検定合格警備員を配置すること。（平成27年4月3日沖縄県公安委員会告示第36号） (1) 「低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号）による建設機械を使用する。 (2) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は原則として「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付け建設省経機発第249号、最終改正平成22年3月18日付け国総施設第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 一般工事用建設機械（ディーゼルエンジン出力7.5～260kW） ア バックホウ イ 車輪式トラクタショベル ウ ブルドーザ	○ 15 発生材の処理等 (1.3.9)	エ 発動発電機 オ 空気圧縮機 カ 油圧ユニット（基礎工事用機械で独立したもの） キ ローラ類 ク ホイールクレーン 適切、安全な工事の実施のため、必要に応じ事前に施工調査を行う。（建物や周辺の状況等調査、残存物品調査、PCB、アスベスト等有害物質調査など） (1) マニフェストシステムを採用し、適正な収集、運搬及び処分を行う。 <table><tr><td></td><td colspan="2">発生材の種類及び処理方法</td></tr><tr><td>引渡しを要するもの</td><td>・無</td><td>・有（図示）</td></tr><tr><td>特別管理産業廃棄物</td><td>・無</td><td>・有（図示） ※現場調査を行う</td></tr><tr><td>再利用を図るもの</td><td>・無</td><td>・有（図示）</td></tr></table> (2) 本工事により発生する建設廃棄物のうち、県内の最終処分場に搬入する産業廃棄物は、産業廃棄物の処理に係る税（沖縄県産業廃棄物税）が課税されるので、適正に処理すること。 (3) 建設リサイクルの推進について 受注者は、工事着手前に「建設副産物情報交換システム」（以下、「COBRIS」（コブリス）という。）により作成した、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出しなければならない。 また、受注者は、その計画書に従い建設廃棄物が適切に処理されたことを確認し、工事完成時に「COBRIS」により作成した、「再資源化報告書」、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。 (4) 本工事で発生する建設廃棄物を現場外に搬出する場合、以下のいずれかとする。 ただし、島内、もしくは建設発生木材（伐採木を含む）・建設汚泥については工事現場から50km以内に以下の施設がない場合は、この限りではない。 ①搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいくる材を製造している再資源化施設へ搬出 ②搬出した廃棄物の種類を原材料とするゆいくる材の製造を行っていないが、そこで再資源化された後にゆいくる材製造業者へ出荷している施設へ搬出 (5) 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前に掲げる施設のうち、受入条件のうちから運搬費と処分費（平日受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、再資源化に要する費用の変更は行わない。 (6) アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水及び粉体の取扱基準について ア 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する濁水及び粉体（以下、「廃棄物」という。）については、廃棄物吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された廃棄物については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については変更契約できるものとする。 「適正に処理」とするとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、工事に際して特別な混入物が無ければ、下記HPIに掲載されている「濁水及び粉体の分析結果」を用いても差し支えない。 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/seibi/sangyo/asufaruto.html なお、受注者は、廃棄物の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。 イ 発生する濁水（汚濁）に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する濁水の取扱基準について（通知）（平成24年3月28日付け土技第1257号）」に基づき、適正に処理すること。 ウ 発生する粉体に関しては「アスファルト舗装版切断に伴い発生する廃棄物の取扱いについて（通知）（平成25年1月17日付け土技第942号）」に基づき、適正に処理すること。 (7) 撤去前に内容物（燃料、冷媒、吸収液、廃油等）の回収を要する機器、配管等がある場合、撤去部に有害物質を含む材料（アスベスト、鉛、PCB等）が使用されている場合は、監督員と協議し、関係法令により適切に処置する。		発生材の種類及び処理方法		引渡しを要するもの	・無	・有（図示）	特別管理産業廃棄物	・無	・有（図示） ※現場調査を行う	再利用を図るもの	・無	・有（図示）																																					
	発生材の種類及び処理方法																																																					
引渡しを要するもの	・無	・有（図示）																																																				
特別管理産業廃棄物	・無	・有（図示） ※現場調査を行う																																																				
再利用を図るもの	・無	・有（図示）																																																				
一般共通事項																																																						
○ 1 工事实績情報の登録 (1.1.4)	工事实績情報の登録を行う。ただし、請負代金額が500万円未満の工事については、登録を要しない。																																																					
○ 2 適用図書等 (1.1.6)	※公共建築工事標準仕様書（平成28年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ※公共建築改修工事標準仕様書（平成28年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ※公共建築設備工事標準図（平成28年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修） ※営繕工事写真撮影要領（平成28年版） ※（建築、電気設備、機械設備）工事監理指針（平成28年版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ※建築材料・設備機材等品質性能評価事業評価名簿（平成30年版）（一般社団法人公共建築協会） ※																																																					
○ 3 別契約の関連工事 (1.1.7)	(1) 関連工事との取り合いは、別表－1による。ただし、図示されたものを除く。 (2) 他工事の施工に支障をきたさないように、施工に必要な位置、寸法、数量等を速やかに明示し、円滑な施工に協力すること。	○ 10 主任技術者等の資格																																																				
○ 4 工事の一時中止に係る事項 (1.1.9)	工事の一時中止に係る計画の作成 (1) 工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。																																																					
5 工事の余裕期間	(1) 本工事は余裕期間として【 日間】を設定した工事である。なお、余裕期間の設定にかかる積算上の割増は考慮していない。 (2) CORINS登録については、実工期期間にて技術者の従事期間の登録を行うこと。 (3) 余裕期間における現場代理人、主任技術者又は監理技術者の配置は、不要とする。 (4) 受注者は、契約書第3条に基づき提出する工程表は、余裕期間を記入したものとする。 (5) 受注者は、着手関係書類（工程表、請負代金内訳書を除く）について、実工期の始期に提出するものとする。 (6) 受注者は、余裕期間内においては資材の搬入、仮設物の設置等工事の着手を行ってはならない。ただし、余裕期間内に施工体制等及び建設資材の確保が図られた場合は、監督職員との協議を行い、速やかに工事着手するとともに、着手関係書類を提出するものとする。 (7) 実工期の始期に変更が生じた場合は、全体工期の変更協議を行う。 (8) 受注者は、契約書第35条第1項の規定にかかわらず、実工期の始期以降でなければ、発注者に対して前払金の支払いを請求することはできない。																																																					
6 概成工期 (1.2.1)	図示された範囲は、平成 年 月 日までに完了すること。																																																					
○ 7 施工図等 (1.2.3)	(1) 施工図等の著作権に関わる当該建築物に限る使用権は、発注者へ移譲するものとする。 (2) 受注者は施工に先立ち各工事間の施工計画を調整、検討するため、各室の平面図、展開図、天井伏図（各1/50程度）及び必要な部位の断面図を作成の上、監督員に各工事の必要な内容を記載した総合図を提出し確認を受ける。ただし、監督員より総合図の作成を要しない旨の指示がある場合はこの限りでない。 (3) 施工計画書及び主要機材の製作図並びに施工図は監督員の指示する時期に提出する。ただし、監督員の指示がない場合は、原則として施工計画書は契約後30日以内、製作図及び施工図は工事着工前までに提出し承諾を受ける。	○ 11 電気保安技術者 (1.3.2)																																																				
		12 施工条件 (1.3.3)																																																				
		13 交通安全管理 (1.3.6)																																																				
		○ 14 施工中の環境保全等 (1.3.8)																																																				
8 設計図CADデータの貸与	本工事では発注者から受注者に対し設計図CADデータを貸与する。なお、貸与されたCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用してはならない。																																																					
<table><tr><td>工事名称</td><td>平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業</td><td>工事年度</td><td>平成30年度</td></tr><tr><td>工事場所</td><td>沖縄県島尻郡渡嘉敷村宇波嘉敷37番地</td><td>図面名称</td><td>特記仕様書（機械）その2</td></tr><tr><td>発注機関</td><td>渡嘉敷村</td><td>縮尺</td><td>A1:N/O A3:N/O</td></tr><tr><td>摘要</td><td></td><td>図面番号</td><td>M-02</td></tr><tr><td rowspan="4">機印</td><td>官理建築士</td><td>設計</td><td>製図</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>設計者</td><td>名称</td><td>翔建築設計事務所</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>資格者氏名</td><td>1級建築士 第218620号 勝連 安子</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>登録番号</td><td>1級建築士事務所登録 第109-3621号</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>所在地</td><td>うるま市勝連平敷屋3650-1</td></tr></table>						工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度	工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村宇波嘉敷37番地	図面名称	特記仕様書（機械）その2	発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:N/O A3:N/O	摘要		図面番号	M-02	機印	官理建築士	設計	製図												設計者	名称	翔建築設計事務所				資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子				登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号				所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1
工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度																																																			
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村宇波嘉敷37番地	図面名称	特記仕様書（機械）その2																																																			
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:N/O A3:N/O																																																			
摘要		図面番号	M-02																																																			
機印	官理建築士	設計	製図																																																			
		設計者	名称	翔建築設計事務所																																																		
			資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子																																																		
			登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号																																																		
			所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1																																																		

項目		特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
○ 17	ゆいくる材について	(3) 建設業退職金共済制度に加入し、次の項目を遵守すること。 ア 掛金収納書を契約後一か月以内に発注者に提出する。 イ 当該建設現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」標識を掲示する。 ウ 未加入下請事業者に対する加入を指導する。	23	情報共有システムの使用	○ 4	保温工事 (3.1.1)
		(1) ゆいくる材の利用 ア 本工事で使用するリサイクル資材は、特定建設資材廃棄物を原材料とするゆいくる材に限り、原則「ゆいくる材」とする。それ以外を原材料とするゆいくる材は率先して使用することとする。 イ ゆいくる材がない離島等での工事の場合は、ゆいくる材以外の再生資材を使用できる。この場合においても受注者は、「ゆいくる材品質管理要領」に準じて品質管理を実施しなければならない。 ウ ゆいくる材の在庫がない等により使用することができない場合は、新材を使用する。				
○ 18	機材の品質等 (1.4.2)	※工事に使用する機材の品質等は図示（機器仕様書等）又はこれらと同等のものとする。（製品番号等は参考であり限定しない。） ※使用する機材はあらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※使用する機材が「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」（一般社団法人公共建築協会）による場合は、評価書の写しを監督員に提出する。 ※	24	標識その他 (1.7.4)	○ 5	塗装 (3.2.1)
		(2) ゆいくる材の品質管理 ア 受注者は、ゆいくる材の品質管理にあたっては、標準仕様書等のほかに「ゆいくる材品質管理要領」に基づいて実施しなければならない。 イ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上でゆいくる材を使用する場合、着手後に一般財団法人沖縄県建設技術センターあてに「ゆいくる材品質管理依頼」を行い、必要書類の交付を受けなければならない。 ウ 受注者は、路盤材のサンプル送付試験の試料採取や現場への資材初回搬入時と敷き均し転圧完了後に行う現場簡易試験を監督員等の立会のもと実施しなければならない。 エ 受注者は、路盤材の現場簡易試験が終了した後、速やかに監督員等に試験結果を報告しなければならない。				
19	技能士 (1.5.2)	技能士を適用する。技能検定の職種及び作業種別は以下による。 ・配管施工（建築配管作業） ・熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・冷凍、空調調和機器施工（冷凍、空調調和機器施工作業） ・建築板金施工（ダクト板金作業）	25	機材	○ 6	仮設工事 (4.1.1)
		(1) 化学物質の濃度測定の基準、測定方法、測定対象室及び測定箇所数は以下により実施する。 ・「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営整第4号平成24年4月5日） ・「学校における室内空気汚染対策について」（15ス学健第11号平成15年7月4日）				
20	化学物質の濃度測定 (1.5.7)	測定対象室	測定箇所数	備考	7	土工事 (4.2.1)
21	技術検査 (1.6.2)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	28	磁気探査	○ 7	土工事 (4.2.1)
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	測定対象室	測定箇所数	備考	○ 8	その他
○ 22	完成時の提出図書 (1.7.1)	中間技術検査を行う。実施回数及び実施する段階は以下による。 ()	29	その他	○ 8	その他
		(1) 本工事は電子納品対象工事とする。 電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下、「要領」）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一財）沖縄県建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。 工事完成図書は、電子媒体で（正）1部提出する。 「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議の上、電子化のファイルフォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督職員と協議の上、決定すること。 (3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に				
○ 22						

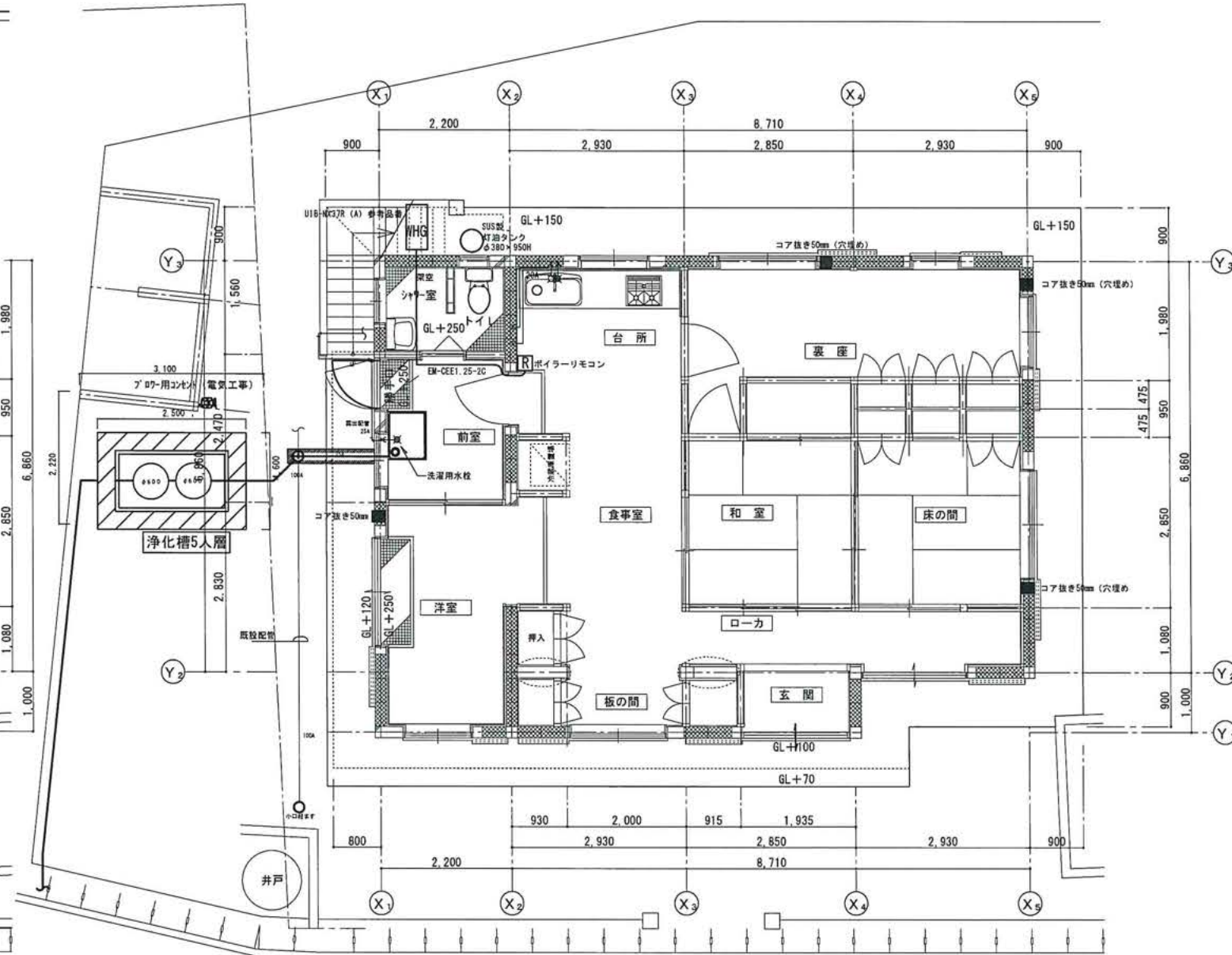
工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	特記仕様書（機械）その3
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:N/O A3:N/O
摘 要		図 面 番 号	M - 03
検 印	官理建築士	設 計	製 図
		設 計 者	名 称 翔建築設計事務所
			資格者氏名 1級建築士 第218620号 勝連 安子
			登録番号 1級建築士事務所登録 第109-3621号
			所 在 地 うるま市勝連平敷原3650-1

改修前

改修後



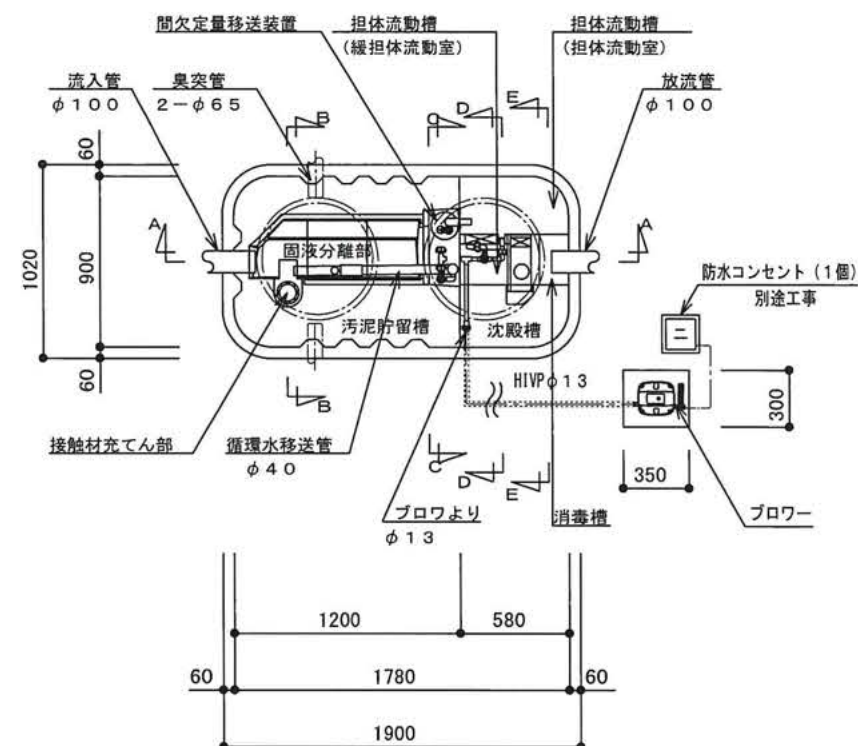
現況平面図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



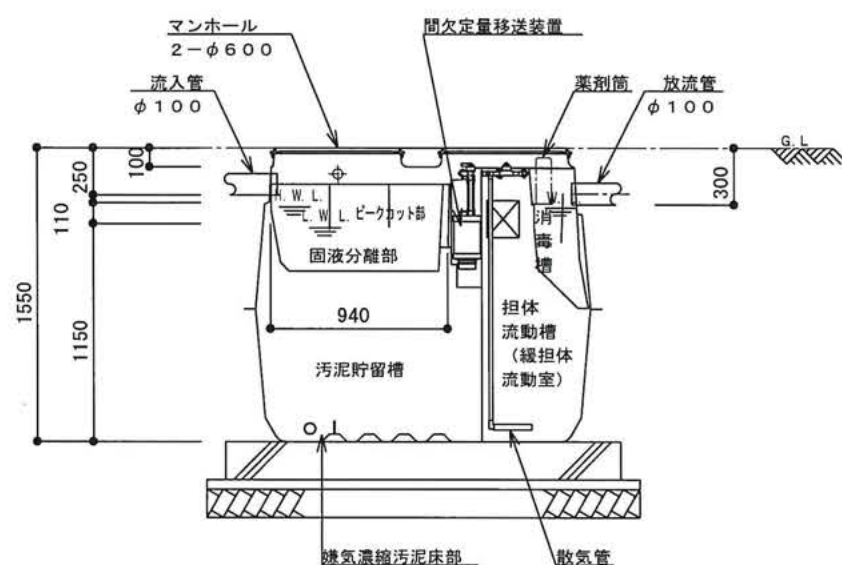
改修後平面図 A1 : S=1/50
A3 : S=1/100



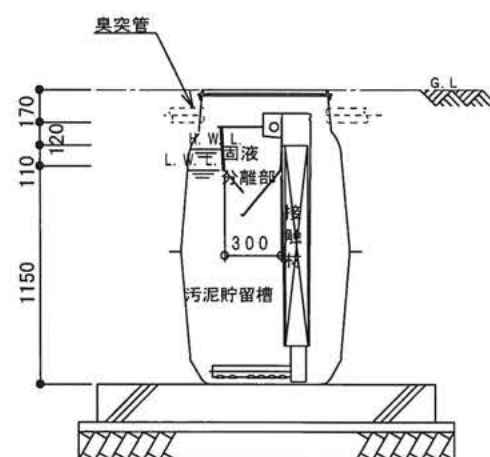
工事名称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工事年度	平成30年度
工事場所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図面名称	給排水設備 改修前・改修後平面図
発注機関	渡嘉敷村	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
摘要		図面番号	M-05
検印	官理建築士	設計	製図
		名称	翔建築設計事務所
		資格者氏名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登録番号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所在地	うるま市勝連平敷屋3650-1



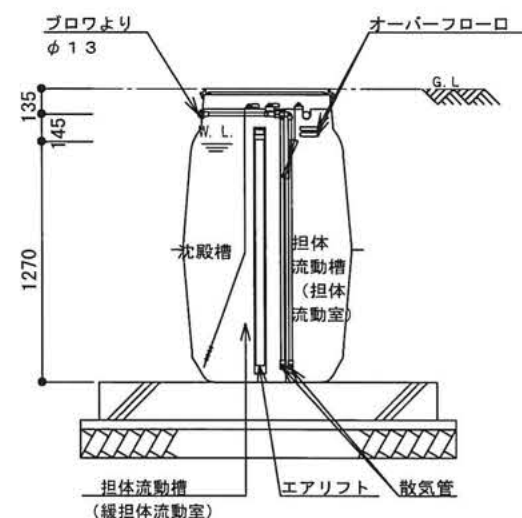
浄化槽構造平面図 A1 1:20
A3 1:40



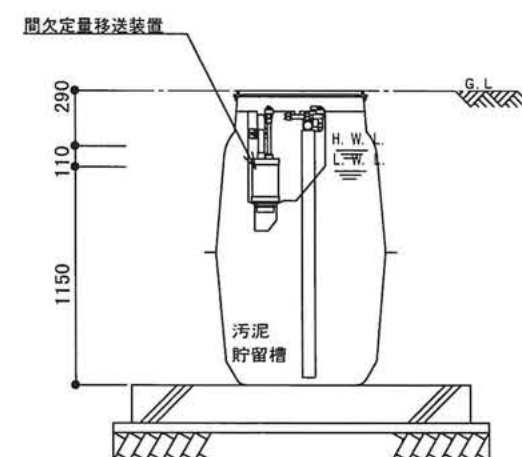
A-A断面図 A1 1:20
A3 1:40



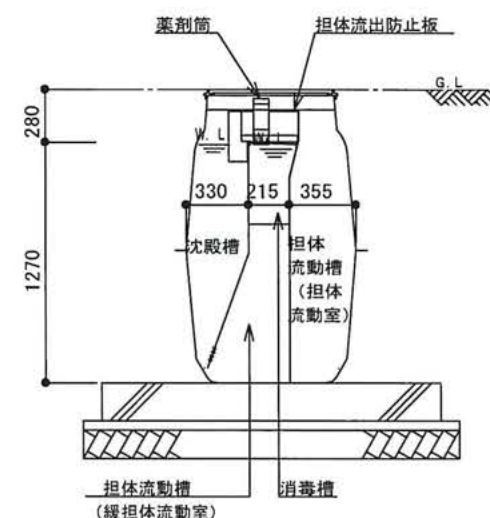
B-B断面図 A1 1:20
A3 1:40



D-D断面図 A1 1:20
A3 1:40



C-C断面図 A1 1:20
A3 1:40



E-E断面図 A1 1:20
A3 1:40

エコマーク認定番号 12151001

建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動循環方式

型式認定	認定番号	5-18-H-001
	認定年月日	平成30年5月22日
型式適合認定	認定番号	型01Cad0c0054571
	認定年月日	平成30年4月6日
型 式	ダイエー浄化槽 FCE5型	
処理対象人員	5人	
日平均汚水量	1.0m ³ /日	
流入水質	BOD200mg/L SS160mg/L T-N45mg/L	
放流水質	BOD 20mg/L SS 20mg/L T-N20mg/L	

容 量 表

項 目	設 計 容 量	
	H. W. L.	L. W. L.
固液分離部	0.035	m ³
汚泥貯留槽	1.169	m ³
ピークカット部	0.098	m ³
担体流動槽	0.389	m ³
(担体流動室)	0.212	m ³
(緩担体流動室)	0.177	m ³
沈殿槽	0.145	m ³
消毒槽	0.021	m ³
総容量	1.724	m ³
	1.626	m ³

機器仕様表 (単相・100V)

機器名	口 径	入 力 (50/60Hz)	吐 出 量 (50/60Hz)	台 数
プロウ	φ13	28W 以下	0.05 m ³ /min	1 台

注 記

1. 流入管・放流管・臭突管・一次側電源引込工事は別途とします。
2. 臭突管は流入側に左右2ヵ所あります。立上げ位置に向かって上り勾配に配管し、左右2ヶ所のうち使用しない方は必ずキャップして下さい。
3. 浄化槽の埋め戻しは保護砂にて行い水締めを行って下さい。
4. 嵩上げは合計で30cm以内として下さい。
5. 嵩上げが30cm以上の場合は原水ポンプ槽を前置して下さい。
又は、二重スラブ構造や検査等の対策を講じて下さい。
6. スラブは浄化槽本体に直接当たらないよう施工して下さい。
7. 標準マンホールは樹脂製の軽荷重用（安全荷重500kg、T2）です。

工 事 名 称	平成30年度渡嘉敷村空き家活用整備事業	工 事 年 度	平成30年度
工 事 場 所	沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷37番地	図 面 名 称	浄化槽詳細図-1
発 注 機 関	渡嘉敷村	縮 尺	A1:1/20 A3:1/40
摘 要		図 面 番 号	M-06
検 印	官理建築士	設 計	製 図
		設 計	名 称 翔建築設計事務所
		資 格 者 氏 名	1級建築士 第218620号 勝連 安子
		登 録 番 号	1級建築士事務所登録 第109-3621号
		所 在 地	うるま市勝連平敷屋3650-1